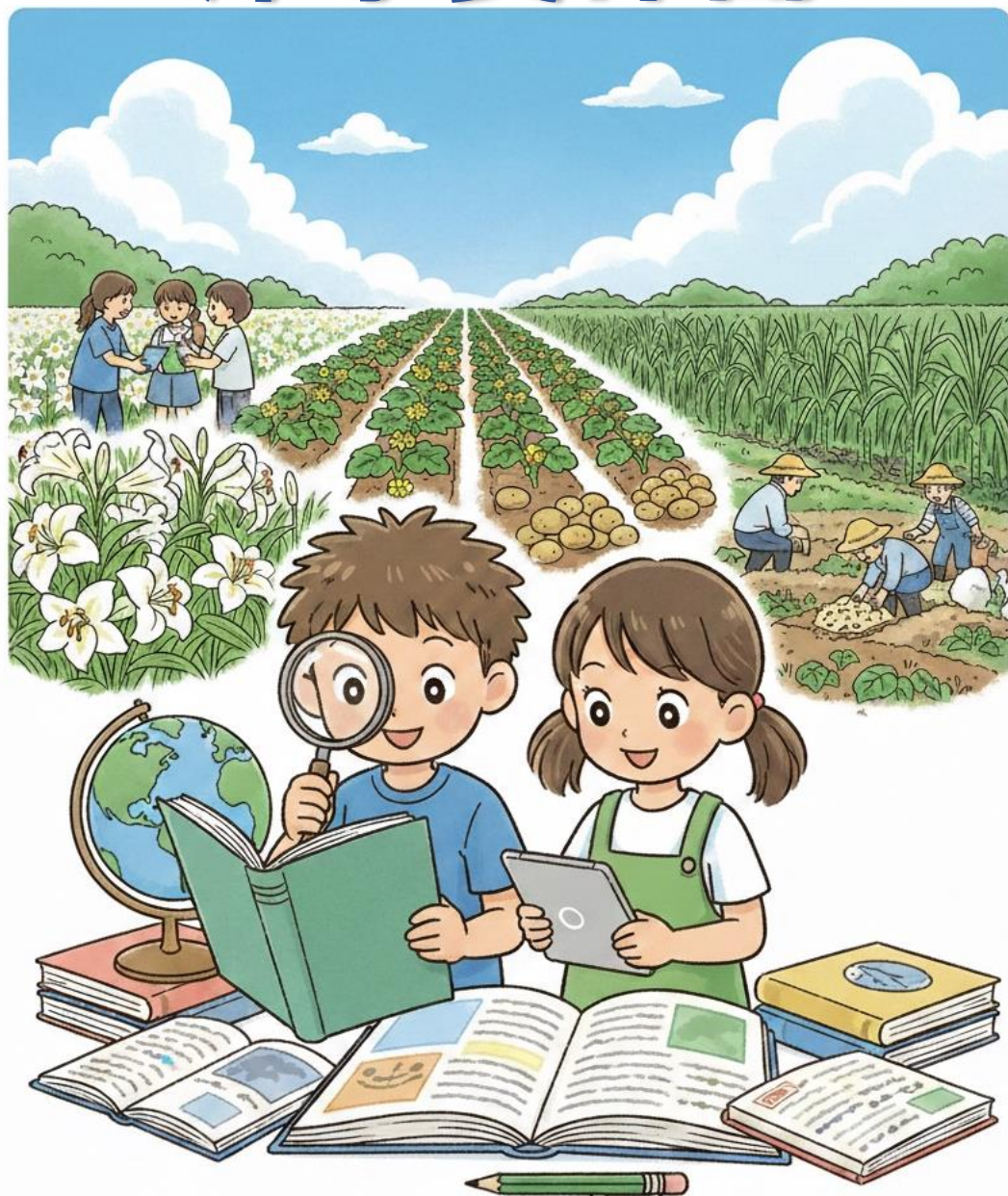


わたしたちの

小学校3・4年生

社会科副読本

# 沖永良部島



和泊町・知名町教育委員会

## 3・4年生のみなさんへ

3・4年生のみなさんへ「わたしたちの沖永良部島」をおとどけします。

3・4年生では、わたしたちの住<sup>す</sup>んでいる町や鹿児島県内のおもな土地の様子についてくわしく勉強<sup>べんきょう</sup>します。

この本は、みなさんが社会科の勉強をするとき、教科書とあわせて使<sup>つか</sup>えるように、沖永良部島の様子や人々のくらしについてまとめてみました。

授業<sup>じゅぎょう</sup>や家での勉強で、島の土地の様子、人々の仕事<sup>しごと</sup>の様子、くらしとのつながり、島のうつりかわりなどについて調<sup>しら</sup>べるときに役立<sup>やくだ</sup>ててもらえると思います。

わたしたちの沖永良部島のことをたくさん勉強してくださいね。

# もくじ

## I わたしのまち みんなのまち

1 学校のまわり

2 まちのようす

## II はたらく人と わたしたちのくらし

1 店ではたらく人

2 農家の仕事

## III くらしをまもる

1 火事が起きたら

2 事故や事件が起きたら

3 風水害からくらしを守る

## IV 住みよいくらしをつくる

1 ごみのしよりと利用

2 水はどこから

## V きょうどにつたわるねがい

1 人々のねがいとため池づくり

2 古い道具と昔のくらし

3 ふるさと歴史マップ

## VI きょう土のはってんにつくす

1 産業をさかんにした人

2 大山の自然を守る

3 沖永良部島出身者のつどい沖洲会

# I わたしのまち みんなのまち



- 上のしゃしんは どこでしょうか。
- そこでは、どんなことをしているでしょうか。

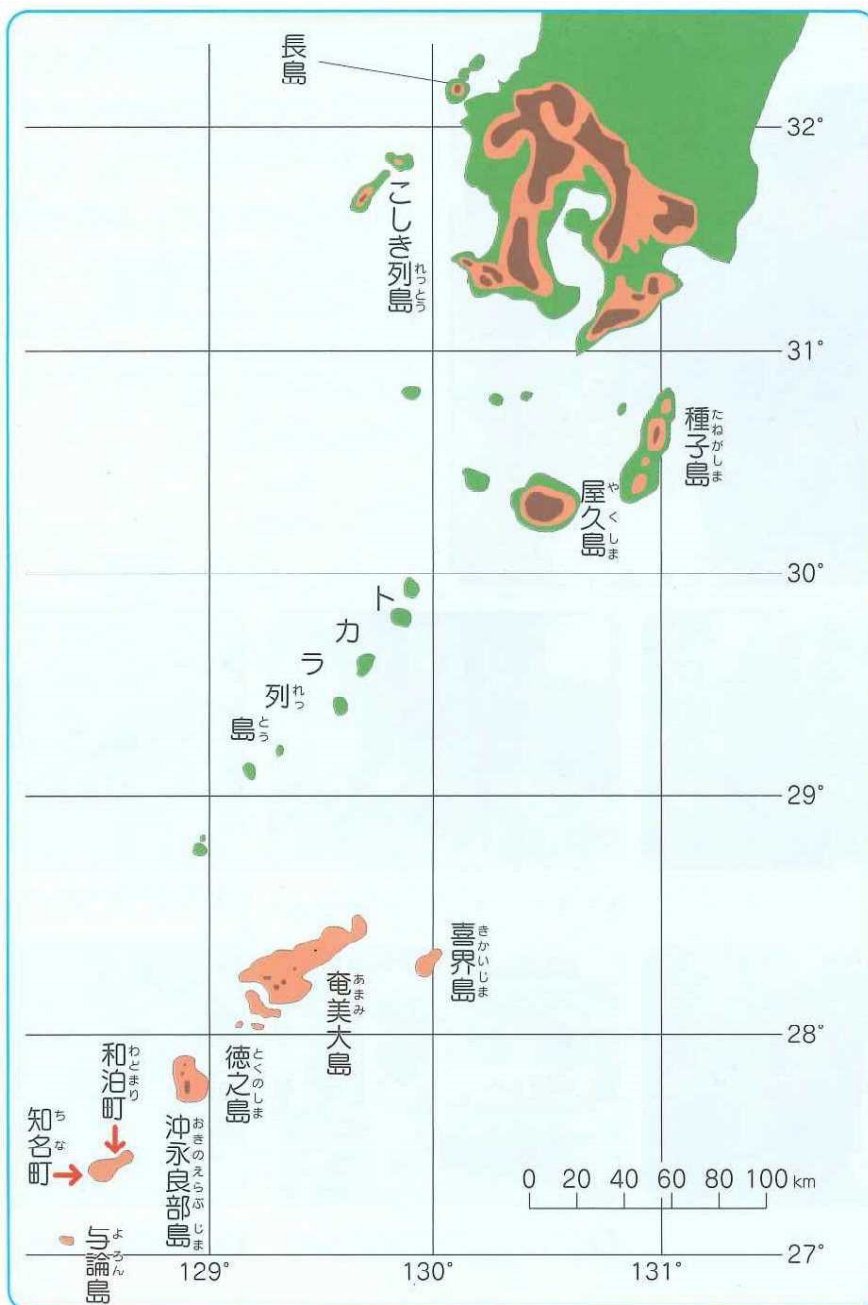
## わたしたちのまち みんなのまち

学習の  
めあて

わたしたちの住んでいる沖永良部島には、どのような場所があり、それぞれどんな様子なのでしょうか。

(1) 沖永良部島の位置

図表1 鹿児島県全図



鹿<sup>か</sup>児<sup>ご</sup>島<sup>しま</sup>県<sup>けん</sup>は、九<sup>きゅう</sup>州<sup>しゅう</sup>の南<sup>なん</sup>部<sup>ぶ</sup>にありま<sup>す</sup>す。わたしたちの住<sup>す</sup>んでいる沖<sup>おき</sup>永<sup>えい</sup>良<sup>りょう</sup>部<sup>ぶ</sup>島<sup>とう</sup>は、その鹿<sup>か</sup>児<sup>ご</sup>島<sup>しま</sup>県<sup>けん</sup>大<sup>おお</sup>島<sup>しま</sup>郡<sup>ぐん</sup>にありま<sup>す</sup>す。鹿<sup>か</sup>児<sup>ご</sup>島<sup>しま</sup>県<sup>けん</sup>は、南<sup>なん</sup>北<sup>きた</sup>に長<sup>なが</sup>く広<sup>ひろ</sup>がっている県<sup>けん</sup>で、離<sup>り</sup>島<sup>とう</sup>が多<sup>おほ</sup>く、種<sup>たね</sup>子<sup>ご</sup>島<sup>しま</sup>・屋<sup>やく</sup>久<sup>く</sup>島<sup>しま</sup>・奄<sup>あま</sup>美<sup>み</sup>大<sup>おお</sup>島<sup>しま</sup>などた<sup>た</sup>くさ<sup>ん</sup>の島<sup>しま</sup>が<sup>あ</sup>りま<sup>す</sup>。鹿<sup>か</sup>児<sup>ご</sup>島<sup>しま</sup>市<sup>し</sup>から沖<sup>おき</sup>永<sup>えい</sup>良<sup>りょう</sup>部<sup>ぶ</sup>島<sup>とう</sup>ま<sup>で</sup>は、お<sup>お</sup>よ<sup>よ</sup>そ<sup>そ</sup>5<sup>ご</sup>3<sup>さん</sup>7<sup>しち</sup>キ<sup>き</sup>ロ<sup>ろ</sup>メ<sup>め</sup>ー<sup>え</sup>トル<sup>とる</sup>も<sup>も</sup>は<sup>は</sup>な<sup>な</sup>れ<sup>れ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。

離<sup>り</sup>島<sup>とう</sup>でのわたしたちのく<sup>く</sup>らし<sup>し</sup>は、ほ<sup>ほ</sup>か<sup>か</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>ち<sup>ち</sup>と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>ろ<sup>ろ</sup>い<sup>い</sup>ろ<sup>ろ</sup>な<sup>な</sup>つ<sup>つ</sup>な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>り<sup>り</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>そ<sup>そ</sup>う<sup>う</sup>だ<sup>だ</sup>ね<sup>ね</sup>。



空<sup>おき</sup>の<sup>の</sup>げ<sup>げ</sup>ん<sup>ん</sup>かん<sup>かん</sup>沖<sup>おき</sup>永<sup>えい</sup>良<sup>りょう</sup>部<sup>ぶ</sup>空<sup>くう</sup>港<sup>こう</sup>

沖<sup>おき</sup>永<sup>えい</sup>良<sup>りょう</sup>部<sup>ぶ</sup>空<sup>くう</sup>港<sup>こう</sup>を<sup>を</sup>利<sup>り</sup>用<sup>う</sup>する<sup>る</sup>人<sup>ひと</sup>  
1年<sup>いち</sup>間<sup>ねん</sup>で<sup>で</sup>80,000人<sup>にん</sup>

国<sup>こく</sup>土<sup>ど</sup>交<sup>こう</sup>通<sup>つう</sup>省<sup>しょう</sup>空<sup>くう</sup>港<sup>こう</sup>管<sup>かん</sup>理<sup>り</sup>状<sup>じょう</sup>況<sup>きやう</sup>調<sup>てう</sup>査<sup>さ</sup>に<sup>に</sup>よ<sup>よ</sup>る<sup>る</sup> (令<sup>れい</sup>和<sup>わ</sup>3年<sup>ねん</sup>度<sup>ど</sup>)



海<sup>うみ</sup>の<sup>の</sup>げ<sup>げ</sup>ん<sup>ん</sup>かん<sup>かん</sup>和<sup>わ</sup>泊<sup>とく</sup>港<sup>こう</sup>

和<sup>わ</sup>泊<sup>とく</sup>港<sup>こう</sup>を<sup>を</sup>利<sup>り</sup>用<sup>う</sup>する<sup>る</sup>人<sup>ひと</sup>  
1年<sup>いち</sup>間<sup>ねん</sup>で<sup>で</sup>22,700人<sup>にん</sup>

「奄<sup>あま</sup>美<sup>み</sup>群<sup>ぐん</sup>島<sup>とう</sup>の<sup>の</sup>概<sup>がい</sup>況<sup>きやう</sup>」に<sup>に</sup>よ<sup>よ</sup>る<sup>る</sup> (令<sup>れい</sup>和<sup>わ</sup>4年<sup>ねん</sup>度<sup>ど</sup>)

わたしたちが住<sup>す</sup>んでいる沖<sup>おき</sup>永<sup>えい</sup>良<sup>りょう</sup>部<sup>ぶ</sup>島<sup>とう</sup>は、ま<sup>ま</sup>わ<sup>わ</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>長<sup>なが</sup>さ<sup>さ</sup>が<sup>が</sup>お<sup>お</sup>よ<sup>よ</sup>そ<sup>そ</sup>55.8キ<sup>き</sup>ロ<sup>ろ</sup>メ<sup>め</sup>ー<sup>え</sup>トル<sup>とる</sup>あり<sup>り</sup>、広<sup>ひろ</sup>さ<sup>さ</sup>が<sup>が</sup>93.7平<sup>へい</sup>方<sup>ばう</sup>キ<sup>き</sup>ロ<sup>ろ</sup>メ<sup>め</sup>ー<sup>え</sup>トル<sup>とる</sup>あり<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>。

沖<sup>おき</sup>永<sup>えい</sup>良<sup>りょう</sup>部<sup>ぶ</sup>島<sup>とう</sup>は、な<sup>な</sup>だ<sup>だ</sup>ら<sup>ら</sup>か<sup>か</sup>な<sup>な</sup>平<sup>へい</sup>地<sup>ち</sup>が<sup>が</sup>多<sup>おほ</sup>く、越<sup>こし</sup>山<sup>やま</sup> (189メ<sup>め</sup>ー<sup>え</sup>トル<sup>とる</sup>) と<sup>と</sup>大<sup>おお</sup>山<sup>やま</sup> (246メ<sup>め</sup>ー<sup>え</sup>トル<sup>とる</sup>) が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>が、高<sup>たか</sup>く<sup>く</sup>け<sup>け</sup>わ<sup>わ</sup>し<sup>し</sup>い<sup>い</sup>山<sup>やま</sup>は<sup>は</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>せ<sup>せ</sup>ん。



↑ <sup>くにがみ</sup> 国<sup>くに</sup>頭<sup>がみ</sup>から<sup>から</sup>越<sup>こし</sup>山<sup>やま</sup>を<sup>を</sup>な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>め<sup>め</sup>て



↑ <sup>こしやま</sup> 越<sup>こし</sup>山<sup>やま</sup>から<sup>から</sup>な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>め<sup>め</sup>て

# ① 学校のまわり



## わどまりしょうこうく 和泊小校区

東シナ海の海岸にそって、<sup>あぜふ いのべ てぎ あざ つづ</sup> 畦布・伊延・出花の字が続いています。太平洋側には、<sup>わ わどまり てでち なうえてでち なきびる あざ</sup> 和・和泊・手々知名・上手々知名・喜美留の字が続いています。ここが和泊小校区です。和泊小は、<sup>あざ</sup> 各字から子どもたちが通っています。

和泊町の中でも、和泊字は、町の中心となっています。<sup>やくば じえいえー</sup> 役場・J A・<sup>ぎんこう けいさつしょ しょうてんがい</sup> 銀行・警察署・商店街などが集まり、にぎやかなところです。

また、<sup>わどまりこう いのべこう</sup> 和泊港や伊延港は、<sup>げんかんぐち</sup> 沖永良部島の海の玄関口として、<sup>にもつ</sup> たくさんの人々や荷物が出入りしています。

## 校区たんけんコース



① 高千穂神社



② 西郷隆盛上陸の碑



③ 伊延港

- ◆ 何の石碑(せきひ)かな。西郷隆盛ってどんな人だったのかな。
- ◆ 校区はどのような土地の使われ方になっているかな。



(2) 沖永良部島の<sup>とく</sup>特ちょう

沖永良部島の<sup>きこう</sup>気候は、1年中あたたかく、1年間の平均気温が23度もあり、あたたかい気候を生かして、ゆり・フリージア・トルコギキョウ・グラジオラスなどの花の<sup>さいばい</sup>栽培がさかんです。



⬆️ <sup>さいばい</sup>トルコギキョウの栽培



⬆️ <sup>さいばい</sup>グラジオラスの栽培

また、ジャガイモ・さといも・さとうきび・葉たばこ・スナップエンドウなどの作物もさかんにつくられています。



⬆️ ジャガイモの栽培



⬆️ さといもの栽培

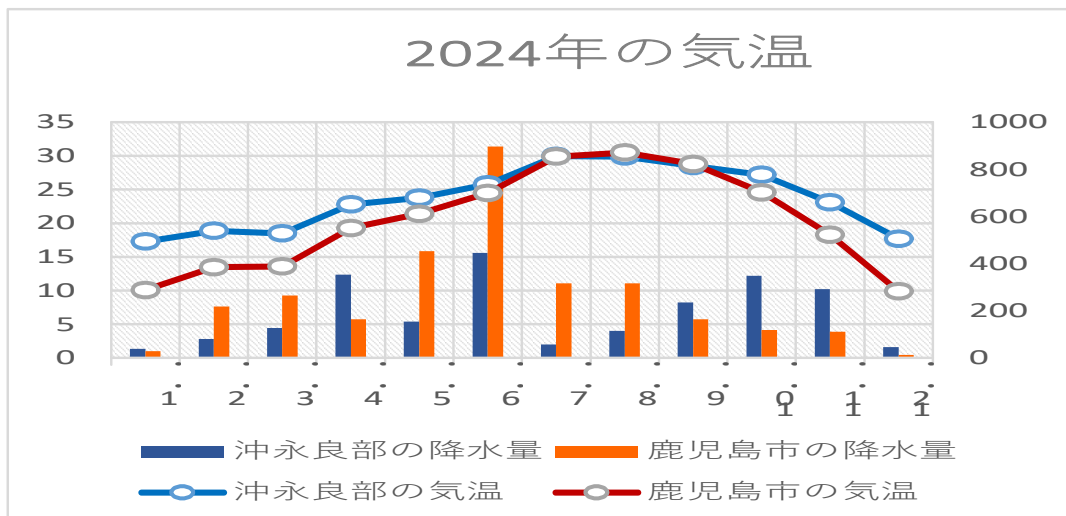


⬆️ さとうきびの栽培



⬆️ スナップエンドウの栽培

## 沖永良部島と鹿児島市の月別平均気温と降水量

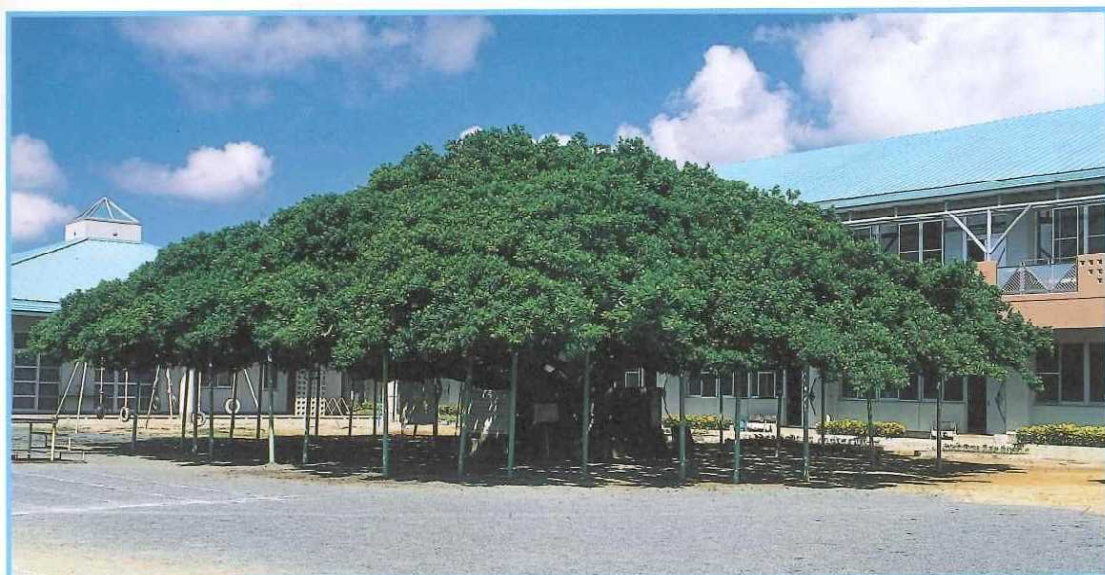


⬆️ 沖永良部島の<sup>きこう</sup>気候    気象庁ホームページ，気象観測による（2024平均値）

沖永良部島には、和泊町と知名町の二つの町があります。和泊町は、広さが40.4平方キロメートルで、5,905人が住んでいます。

知名町は広さが53.3平方キロメートルで、5,305人が住んでいます。

（令和7年5月1日現在）



⬆️ 和泊町・知名町の<sup>ちようぼく</sup>町木（ガジュマル）



⬆️ 和泊町の町花(てっぽうゆり)



⬆️ 知名町の町花(ハイビスカス)

沖永良部島は、あたたかい土地の気候を生かした花の栽培<sup>さいばい</sup>などの農業がさかんで、今のわたしたちの暮らしの中には、沖縄や奄美地方にえいきょうをうけたいろいろな文化が、たくさん見られます。



⬆️ シーサー



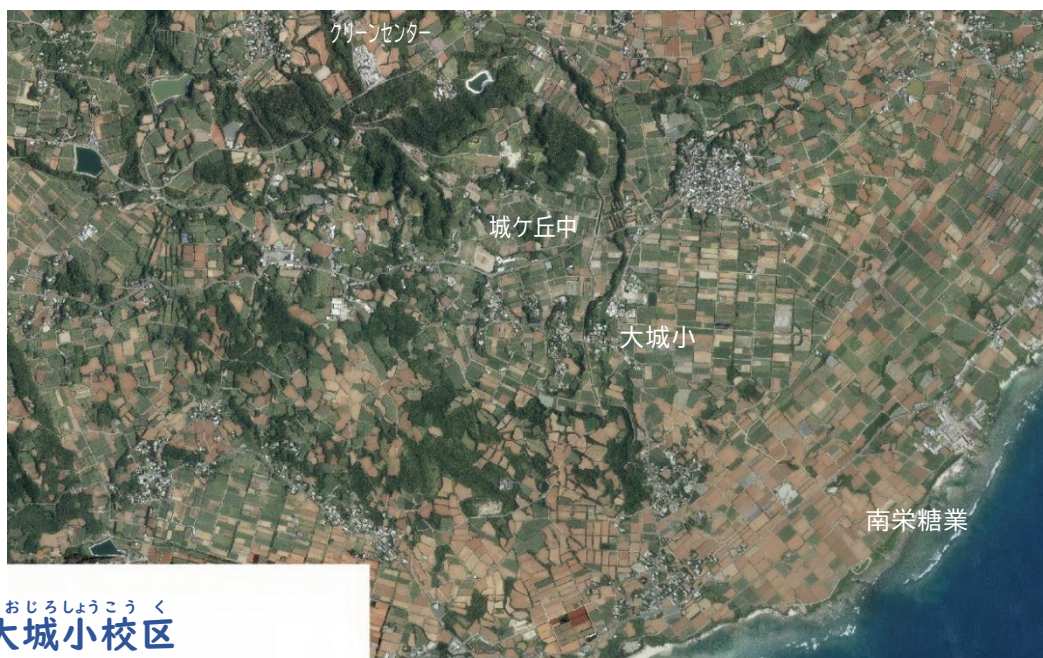
⬆️ 高倉(和泊町研修センター内)



⬆️ サーターアングギー



⬆️ 三味線



おおじろしょうこうく  
**大城小校区**

こしやま たまじろ おおじろ ねおり あざ みながわ  
越山のふもとに、玉城・大城・根折の字があります。南の方には、皆川・  
ふるさと  
古里の字があります。ここが、大城小校区です。

皆川字の海岸には、<sup>なんえいとうぎょう</sup>南栄糖業の工場があり、さとうきびからさとうを作っています。

北にある根折字は、東シナ海に<sup>めん</sup>面し、南の古里字は太平洋に面しています。

**校区たんけんコース**



↑ニャーグヌホー(皆川字)



<sup>ユワヌはま</sup>  
↑与和浜(古里字)



<sup>くら</sup>  
↑高倉(根折字)

- ◆ ニャーグヌホーは、何をするとところだろう。
- ◆ <sup>たかくら</sup>高倉は、何のために建てられたものなのかな。
- ◆ <sup>ユワヌはま</sup>与和浜には、ウミガメが<sup>たまご</sup>卵を産みに来るそうだよ。

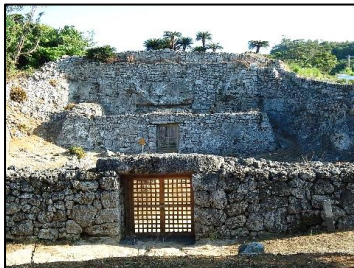




## うちじろしょうこうく 内城小校区

東シナ海に、瀬名・永嶺・仁志の字があります。越山のふもとに内城、その西の方に後蘭・谷山の字があります。ここが内城小校区です。越山には研修センターがあり、近くには、名所として名高い世之主の墓があります。また、内城には牛のセリが行われる沖永良部家畜市場があります。

## 校区たんけんコース



↑ 世之主の墓



↑ あしきぶ公園



↑ おきのえらぶかちくいちば  
沖永良部家畜市場

◆ 「世之主」ってどんな人だったのだろう。

◆ あしきぶ公園には、きれいな水がわき出ているよ。

◆ 沖永良部家畜市場市場の様子を知りたいな。





くにかみしょうこうく  
**国頭小校区**

沖永良部の北東に、<sup>くにかみ にしはる あざ</sup>国頭・西原の字があります。広い畑が一面に広がり、<sup>ほうふ</sup>作物が豊富にみのっています。ここが国頭小校区です。

ここには、<sup>おきの えらぶくうこう</sup>沖永良部空港があります。<sup>げんかん</sup>空の玄関として、鹿児島や<sup>おきなわ あまみ</sup>沖縄・奄美<sup>ひとびと りょう</sup>空港に向けて、たくさんの人々が利用しています。

<sup>ひがし かい</sup>東シナ海側は、美しいさんごしょうの海です。フーチャの切り立ったぜ<sup>かんこうめいしよ</sup>っぺきは、観光名所となっています。

**校区たんけんコース**



↑ <sup>みみつけいけ</sup>耳付池



↑ 沖永良部空港



↑ <sup>みさきじんじや</sup>岬神社

- ◆おや、こんなところに機械(きかい)がおいてあるぞ。
- ◆この飛行機(ひこうき)はどこに行くのだろう。
- ◆海の近くに灯台(とうだい)や神社があったよ。





ち な し ょ う こ う く  
知名小校区

南の方には、<sup>やこも</sup>屋子母・<sup>こごめ</sup>知名・<sup>せりかく</sup>小米・<sup>くろぬき</sup>瀬利覚・<sup>あざ</sup>黒貫の字があります。ここが知名小校区です。

知名字は、知名町の中心で、<sup>はつでんしよ</sup>役場・JA・発電所などがあります。知名字から小米字にかけて、商店がいが続いています。

知名港は、知名町の海のげんかんとして利用されています。港から 東側の海岸ぞいには、平たんな広い畑が続いています。

屋子母海岸へのたんけんコース



↑ はつでんしよ  
発電所



↑ フローラルパーク



↑ やこもかいがん  
屋子母海岸



- ◆ 発電所では、どれくらいの電気をおこしているのかな。
- ◆ 日曜日に家族で<sup>かぞく</sup>フローラルパークに遊びにきたんだ。
- ◆ 海の様子<sup>ようす</sup>が他の地域<sup>ちいき</sup>とちがうんだ。



## すみよししょうこうく 住吉小校区

大山の西の方に、<sup>けんどう</sup> 県道にそって <sup>まさな</sup> 正名・<sup>すみよし</sup> 住吉・<sup>とくどき</sup> 徳時・<sup>おおつかん</sup> 大津勤の字がありま  
す。ここが住吉校区です。

ここには、<sup>くにしてい</sup> 国指定の史跡「<sup>すみよしかいづか</sup> 住吉貝塚」や、<sup>ぶんかざい</sup> 県や町の文化財に指定されて  
いる「<sup>しょうりゅうどう</sup> 昇竜洞」・「<sup>すいれんどう</sup> 水蓮洞」などの鍾乳洞のほか、「<sup>くらごう</sup> 暗川」・<sup>たかくら</sup> 九本柱の  
「<sup>たかくら</sup> 高倉」など、<sup>しせき</sup> 知名町内で一番多くの史跡があります。

### 校区たんけんコース



よなみぞう  
四並蔵神社



くらごう  
暗川



しょうりゅうどう  
昇竜洞

- ◆ <sup>きねんひ</sup> 四並蔵神社の記念碑を調べに行こうよ。
- ◆ <sup>かんこうきゃく</sup> 観光客がたくさんくるよ。
- ◆ <sup>しょうりゅうどう</sup> 昇竜洞は、日本で一番大きな鍾乳洞なんだって。





## 田皆小校区

大山の北西の方に<sup>たみなあざ</sup>田皆字<sup>むかし</sup>があります。昔は、沖永良部島でもっとも大きな字で、<sup>いちあざいちこうく</sup>一字一校区になっています。ここが田皆小校区です。

とう台のある<sup>けしき</sup>景色の美しい<sup>みさき</sup>田皆岬<sup>せっかいがん</sup>があり、海岸はぜっぺきになっています。また、地上には、石灰岩（サンゴや貝などの死がいてできた岩）<sup>※</sup>があらわれてできた<sup>ちけい</sup>カルスト地形が見られます。

※カルスト地形とは、石灰岩などの水に溶解しやすい岩石で構成された大地が雨水、雨水などでけずられてできた地形（鍾乳洞などの地下地形を含む）である。

## 校区たんけんコース



① 田皆岬



① 駐在所



① 幕正月



- ◆田皆岬からみる<sup>けしき</sup>景色は美しく、たくさんの<sup>かんこうきゃく</sup>観光客<sup>かんこうきゃく</sup>がくるよ。
- ◆おまわりさんに校区のようすを聞きにいこうよ。
- ◆昔は<sup>くらごう</sup>暗川<sup>せんたく</sup>で、洗濯したり、水をくんだりしていたんだって。



かみしろしょうこう く  
**上城小校区**

おおやま かいだんじょう ちけい かみしろ しもじろ  
 大山の北の階段状になった地形のふもとに、上城・下城の字がありま  
 す。さらにさがった東シナ海に面したところに新城の字があります。ここが  
 上城小校区です。

階段状になった地形のしゃ面には、畑が広がっています。また、下城に  
 は、世之主がたんじょうした場所だと言われている世之主神社がありま  
 す。

**校区たんけんコース**



① 自衛隊基地レーダ



① 沖永良部芭蕉布工房会館



① 世之主神社

◆あの大きなボールみたいなレーダーは何をするのだろう？

◆芭蕉布工房会館へ機織りの体験に行こう。

◆世之主神社に行って、むかしのことを調べてみよう。





しもひらかわしょうこうく  
**下平川小校区**

大山の東には、<sup>けんどう</sup> 県道にそって<sup>あしきよら</sup> 芦清良・<sup>やじや</sup> 下平川・<sup>あざ</sup> 屋者の字があります。また、<sup>あまた</sup> 余多川ぞいには、<sup>ぐしけん</sup> 久志検・<sup>かみひらかわ</sup> 上平川・<sup>あかみね</sup> 赤嶺・<sup>さおづ</sup> 竿津・<sup>あまた</sup> 余多の字があります。ここが下平川小校区です。ここは、水が豊かな地域で、昔は米づくりがさかんでした。現在では、地下ダムが作られ、そこにためられた水をくみ上げて、<sup>しょうぼうしょ</sup> 島全体の畑にとどけています。また、<sup>おきえらぶこうとう</sup> 消防署や沖永良部高等学校があります。

**校区たんけんコース**



① <sup>あまたがわ</sup> 余多川



② <sup>ちか</sup> 地下ダム <sup>そうさしつ</sup> 操作室



③ <sup>しょうぼうしょ</sup> 消防署

- ◆ 余多川ぞいをたんけんしてみよう。
- ◆ どのあたりに水田があったのかな。
- ◆ 消防署にはどんな車があるかな。



## 2 まちのようす

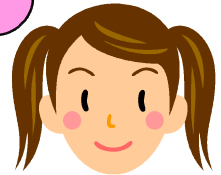
学習の  
めあて

町のおおまかな様子をつかみ、特ちょうのある場所をえらんでくわしく調べましょう。また、調べたことをまとめて「〇〇町ガイドマップ」をつくりましょう。



↑ バスターミナル

バスは、町のどこを走っているのだろう。どうやって乗るんだろう。

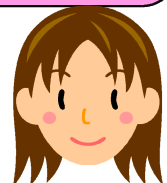


↑ バスりようを利用する人

バスを利用している人にどこまで行くのか聞いてみようよ。



デマンドバスって何だろう。バスは島のどこを走っているか調べてみよう。



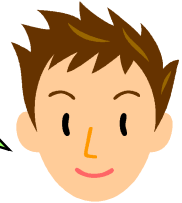
学習の  
めあて

- 土地の様子を調べましょう。
- 畑の多いところ・たてものが集まっているにぎやかなところ・工場の多いところ・緑の多いところを調べましょう。



⤴ 土地を切り開いて新しい畑をつくるようす

新しい畑をつくるには、大きな機械で土地を掘り起こすんだ。  
大きな岩（石灰岩）がたくさん出てくるよ。



沖永良部島は、島全体が平地で、越山と大山がわずかにもり上がっています。石灰岩のできた島なので、あちらこちらに岩がつきだしています。岩をとりのぞいて畑地をつくります。平地はほとんど畑で、作物がよくできます。

下平川小校区を流れる余多川のあたりは、昔は水田が開けて米づくりがさかんでしたが、今ではほとんど行われていません。

大きな川がないので、あちらこちらにため池があります。



⤴ 土地利用図

どんなところに家が集まっているんだろう。





東シナ海側の海岸

さんりん  
山林は、越山と大山を中心としたところで、ふもとから海岸までは、畑の多いところです。

海は、北側に東シナ海、南側に太平洋があります。和泊港や知名港など、いくつかの港があります。東シナ海側は、ほとんど断崖になっています。

家やたてものの多いところは、県道にそっています。店が多くにぎやかなところは、和泊字と知名字や小米字にあり、商店がいやスーパーマーケットなどがあります。

島内には、大きな工場は多くありませんが、大城小校区に製糖工場、知名小校区に発電所、内城小校区にごみ処理場などがあります。いずれも海に近いところにあります。



スーパーマーケット



ごみ処理場



風力発電

## Ⅱ はたらく人とわたしたちの暮らし

### ① 店ではたらく人

#### 学習の めあて

- 家の近くの商店しょうてんがいは、わたしたちの暮らしとどんなつながりがあるか調べましょう。
- 商店がいの人たちは、お客が集まるようにどんな工夫をしているか調べましょう。

### (1) 校区にある店のようす

わたしたちの沖永良部島おきのえらぶじまには、どの校区こうくにもさまざまな店があります。しかし、校区、または字あざによって、店の数や種類しゅるいがちがいます。校区や字にある小売店こうりてんでは、洗剤せんざいや文房具ぶんぼうぐなどの日用品にちようひんから学用品がくようひんや食料品しょくりようひんまで、いろいろな品物しなものを売っています。

家から歩いて行きやすいので、小売店こうりてんがわたしたちの暮らしに大変たいへん役立やくだっています。



📍 小売店(内城)

小売店は、<sup>おおう</sup>大売り出しの<sup>こうこく</sup>広告などはあまりしません。わたしたちは、<sup>がくようひん</sup>学用品を買ったり、おやつを買ったりするため、小売店に行きます。

- 家や学校の近くに小売店がないかさがしてみましよう。
- 小売店には、どんなものが売っているのか調べてみましょう。

## (2) 沖永良部島の商店がい

沖永良部島には、<sup>わどまり</sup>和泊と<sup>ちな</sup>知名に<sup>しょうてん</sup>商店がいがあります。これらの商店がいには、<sup>しょくりようひんてん</sup>食料品店・<sup>いりようひんてん</sup>衣料品店・<sup>きぐてん</sup>電気器具店・<sup>ようひんてん</sup>スポーツ用品店・<sup>べんとうや</sup>弁当屋・<sup>うんそうてん</sup>運送店などがならんでいます。



これらの店は、それぞれ、<sup>しなもの</sup>売る品物がきまっいて、<sup>あざ</sup>字にある小売店と比べると、店の<sup>ようす</sup>様子がだいぶちがいます。どんなところがちがうのかくわしく<sup>しら</sup>調べてみましょう。

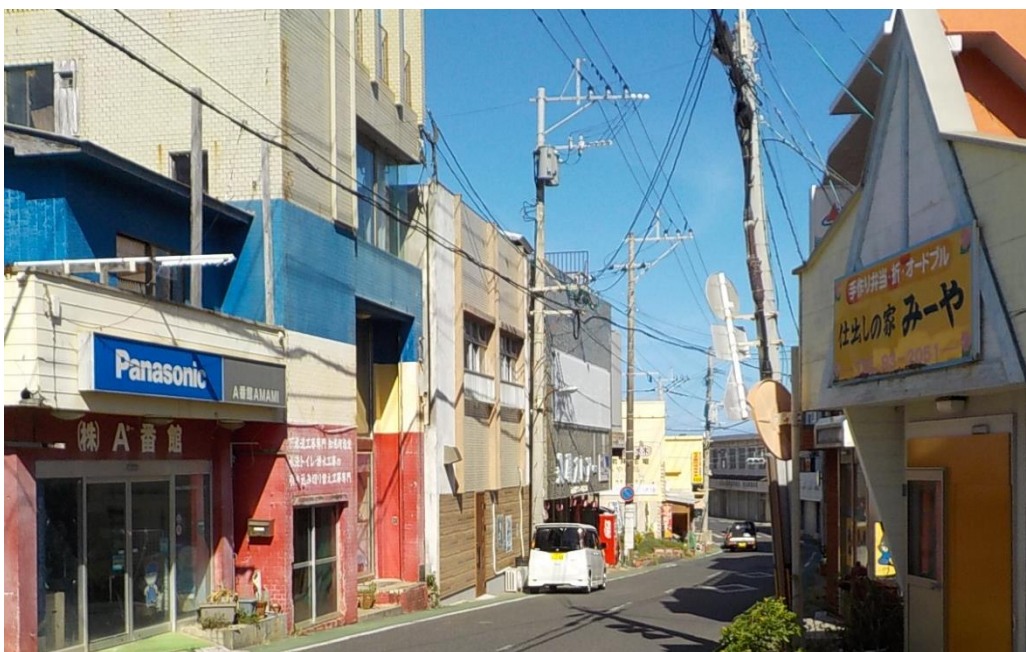
- どんな店があるのか調べてみましょう。調べて分かったら、記号を使って地図に書きこんでみましょう。



和泊と知名の商店がいの近くには、JA・郵便局・銀行などがあり、用事のついでに、買い物をする您也可以。



📍 和泊の商店がい



📍 知名の商店がい

### (3) スーパーマーケット

スーパーマーケットでは、やさい・くだもの・にく・魚・冷凍食品・加工食品・みそ・しょうゆ・パンや菓子などの食べ物や日用品、台所用品などいろいろな品物がきれいにならべて売られています。いろいろな品物を一か所で、一度にまとめて買うことができるのでとても便利です。

スーパーマーケットでは、お客さんが、買いたいと思う商品いつでも買うことができるように、品物の場所を書いた看板を設置したり、おすすめの品物を集めてコーナーを作ったりしています。また、年中行事に合わせて仕入れを工夫するなど、季節や流行に気がつけています。

お店によっては、自分で計算することができるセルフレジ（自動精算機）を導入したり、スマートフォンなどの携帯端末で支払うことができるようにしたりするなど、お客さんのニーズに合わせて工夫しています。



📍 スーパーマーケットのレジ



📍 セルフレジ（自動精算機）

(4) <sup>おおがたせんもんでん</sup> 大型専門店

<sup>のうきぐ</sup> 農機具の部品を買うために <sup>おおがたせんもんでん</sup> 大型専門店を利用する人もいます。  
<sup>ぶひん</sup> 部品の他にも、農業で使う <sup>ひりょう</sup> 肥料や <sup>そうこ</sup> 倉庫を <sup>しゅうり</sup> 修理する材料など、様々な品物があります。また、<sup>のうきぐ</sup> 農機具やその他の商品について、<sup>てんいん</sup> 詳しい店員さんがいるので、<sup>せつめい</sup> 説明を聞いて買うことができます。また、大型のドラッグストアには、食品や日用品も売っています。大型の専門店には広い <sup>ちゅうしゃじょう</sup> 駐車場があり車で買い物に行きやすくなっています。



📍 大型専門店（ニシムタ FC 沖永良部店）



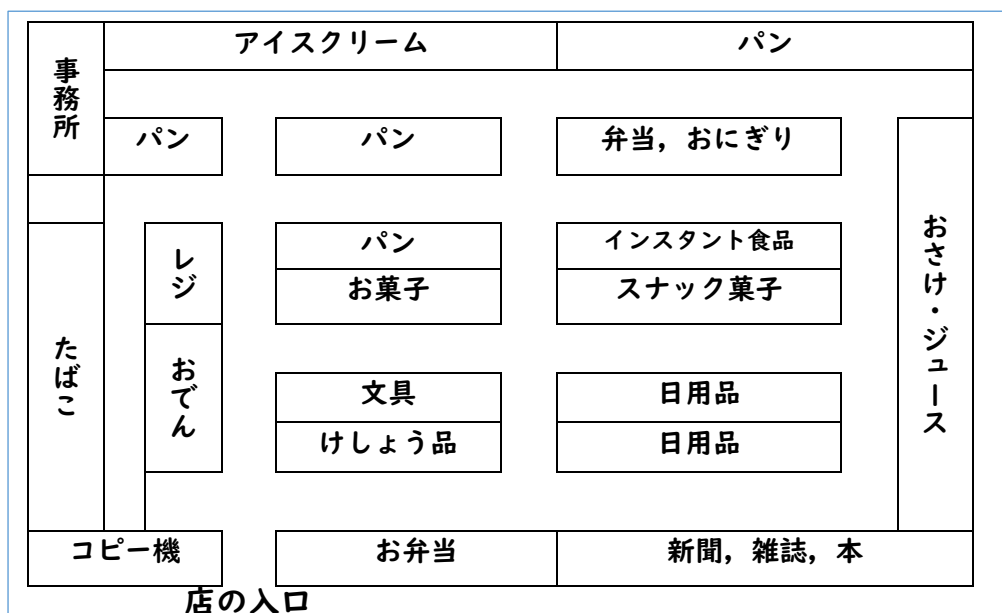
📍 ドラッグストア



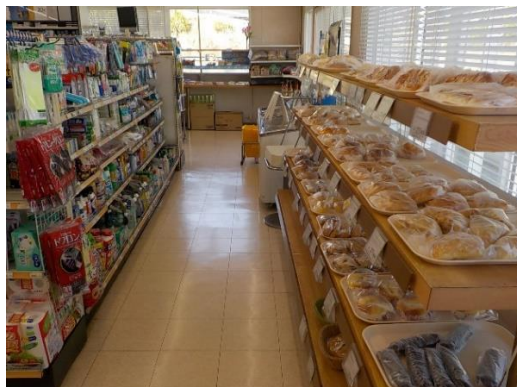
📍 電器店

## (5) コンビニエンスストア

コンビニエンスストアは、朝早くから夜おそくまで開いている店です。店の大きさはそれほど大きくありませんが、品物の種類が多く、宅配便の発送や公共料金の支払いをすることができるお店もあります。小売店やスーパーマーケットとは、どんなところが違うのでしょうか。



### ① コンビニエンスストアのレイアウト例



### ① コンビニエンスストアの店内

## (6) お店のくふう

それぞれのお店では、楽しく買い物をしてもらうために、いろいろな工夫くふうをしています。季節きせつに合わせた品ぞろえや商品の並べ方も工夫の一つです。

また、移動販売車はお店から離れた地域でも買い物ができるようにするための工夫です。自分で車を運転して買い物に行くことが難しい人に喜ばれています。



📍 移動販売車

昭和52年の沖永良部台風たいふうでは、たくさんの建物たてものが被害ひがいを受けました。お店の人たちは、台風たいふうや火事かじの被害ひがいを受けない街づくりまちづくりに力を入れ、当時とうじ、建物たてものを鉄筋てっきんコンクリートコンクリートに建てかえていきました。



町内のお店の人には「商工会しょうこうかい」に入っている人もいます。商工会しょうこうかいは、お店の仕事しごとがうまくいくように様々な相談そうだんを受けたり、町を盛り上げるためにいろいろな行事ぎょうじを計画けいかくしたりしています。

📍 夏祭りの準備

## Ⅱ はたらく人とわたしたちの暮らし

### 2 農家の仕事

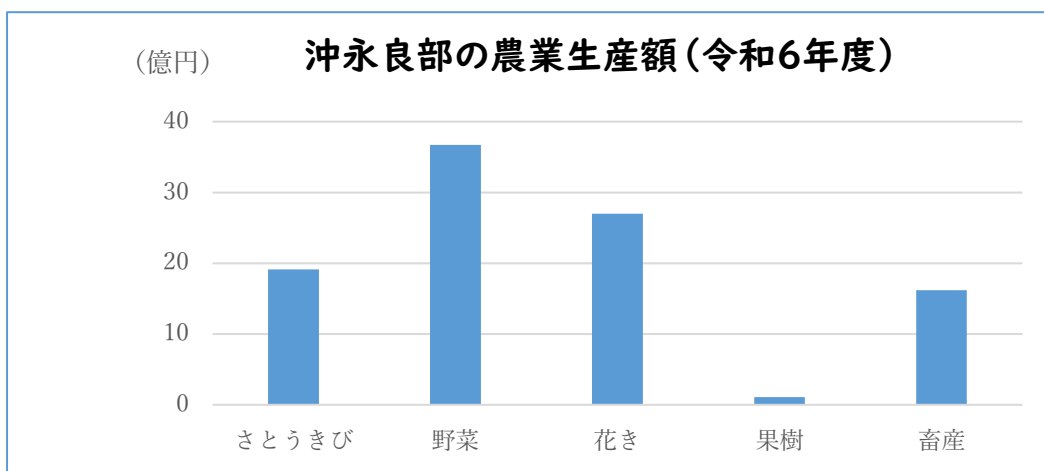
#### 学習の めあて

- 農家の人たちは、土地の様子や気候に合わせて、どのような仕事をしているのか調べましょう。
- 作物を作ったり、多く売ったりするためにどのような工夫をしているのでしょうか。
- 農家は収入をふやすためにどのような工夫をし、とれた作物をどこへ送っているのか調べましょう。

#### (1) 農家の仕事

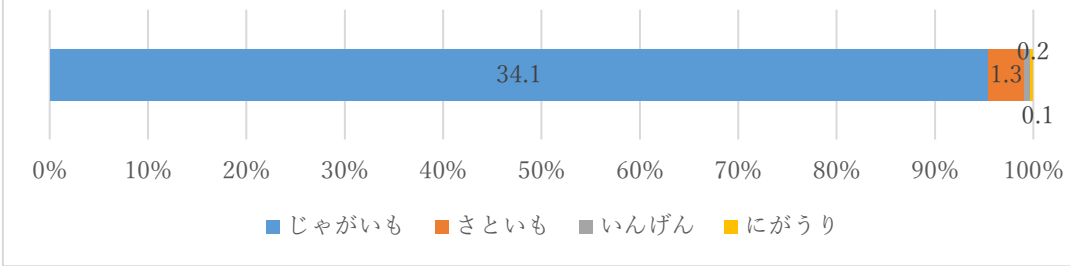
沖永良部島には、たくさんの農家があります。一年を通してあたたかく、土地が平らで畑が多いので、農業をするのに大変恵まれています。

沖永良部島で作られている作物の主なものは、さとうきび・キク・ソリダゴ・ゆり・グラジオラス・葉たばこなどです。野菜は、じゃがいも・さといも・インゲン・にがうりなどがあります。

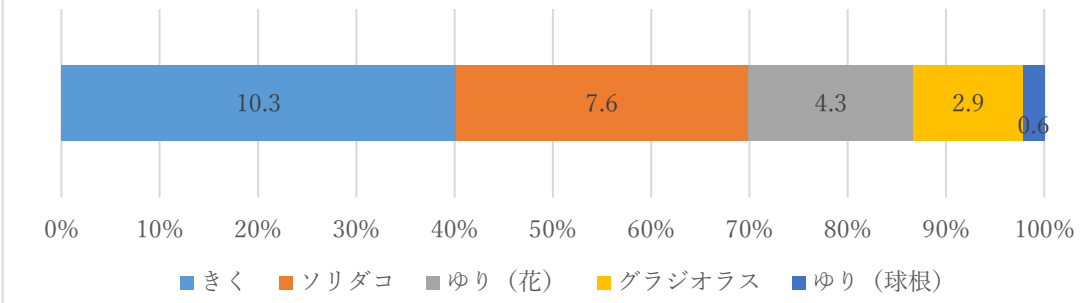


📍 主な作物の売り上げ

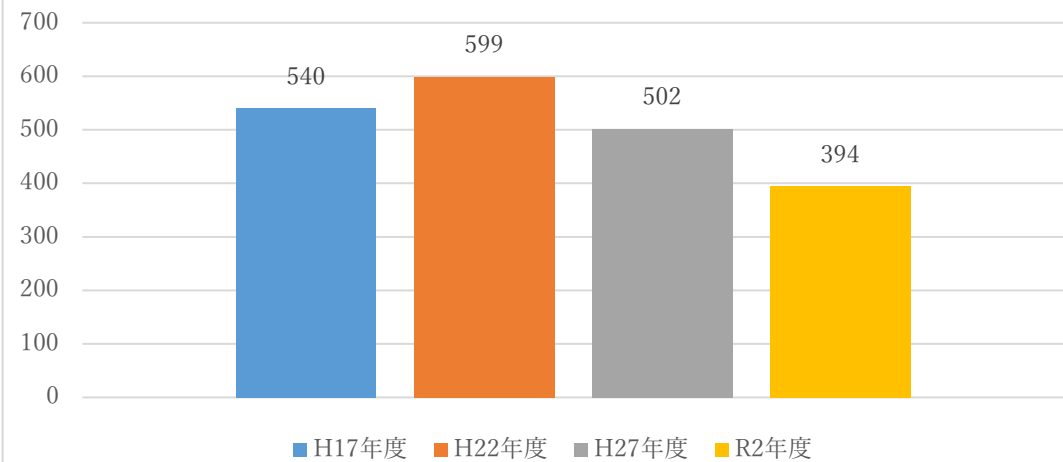
### 沖永良部島の主な野菜の生産額(億円)



### 沖永良部島の主な花きの生産額(億円)





### 沖永良部島の認定農業者数(戸)




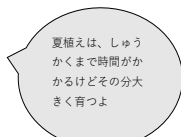












じゃがいも（バレイショ）のさいばい

月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
出荷時期										
2月～4月	はたけのじゅんぴ		たねいもじゅんぴ	ネットをはって風からじゃがいものはっぱを守るとイモが大きく育つんだ！			福岡や大阪、名古屋など大都市を中心に「新じゃが」として出荷される			
			うえつけ	かんり			しゅうかく			
										
	せいちょう！									

さとうきびのさいばい

月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
作り方	はたけのじゅんぴ		苗づくりうえつけ												かん水	しゅうかく							
夏植 なつうえ																							
	サトウキビをみじかい苗にするよ		苗のうえつけ												できるだけ大きく育てる	夏植えは、しゅうかくまで時間がかかるけどその分大きく育つよ							
春植 はるうえ					はたけのじゅんぴ		苗づくり		かん水			せいちょう！			しゅうかく								
	春植えはしゅうかくまでのじかんはみじかいけど、そのぶん夏植えより小さいんだ																						
株出し かぶだし					かぶだしかんり		かん水			せいちょう！			しゅうかく										
	しゅうかく後のかりとった株から芽を出させる株だしさいばい。苗がいらないから楽なんだ。																						

## (2) 農家の仕事の工夫

がいこく 外国でも有名な「エラブユリ」の球根 きゅうこん

は、沖永良部島の特産物です。以前は、  
海外への輸出も行っていましたが、現在  
は、国内に出荷するユリの生産だけとな  
っています。



↑ エラブユリ

また、暖かい気候を利用した切り花  
の生産があり、「エラブユリ」や「きく」  
「ソリダゴ」「グラジオラス」がとても  
有名です。



↑ テッポウユリ

沖永良部花き専門農協では、植え方や育て方の講習会を開いて  
指導したり、買い手の様子をよく調べて、少しでも高い値段で売れる  
ようにしたりしています



↑ 沖永良部花き専門農協 ↓

じゃがいも・さといも・インゲン・にんにくなどの野菜作りは、温暖な気候を生かすことで本州や九州地方よりも早く栽培できるという良さがあり、高い値段で売れます。農業協同組合（JA）では、栽培の方法を指導し、農家から集めたじゃがいもを選別し、出荷しています。



↑ じゃがいもの収穫

特に、じゃがいも（ばれいしょ）は、両町の農家や農協が協力して生産する仕組みが整い、平成7年に「かごしまブランド」（鹿児島県のすぐれた農産物）に指定されました。



↑ ほりとられたじゃがいも

葉たばこを作る農家では、共同で苗を育てています。それは、病気にかからない丈夫な苗を作るためです。大きく育った葉たばこは、共同の乾燥場で乾燥し、出荷しています。



↑ たばこ畑

あたたかい<sup>あたた</sup>気候<sup>きこう</sup>を生かして、キクラゲの生産も行われています。沖永良部で生産されるキクラゲは、さとうきびの<sup>せんい</sup>繊維を使って栽培されるのが大きな特徴です。収穫されたキクラゲは、生のままや<sup>かんそう</sup>乾燥させて<sup>しゅつか</sup>出荷しています。



📌 さとうきびの<sup>せんい</sup>繊維



📌 きくらげの<sup>きんしょう</sup>菌床



📌 <sup>しゅつかさぎょう</sup>出荷作業



📌 <sup>しゅつか</sup>出荷されるキクラゲ

# かごしまブランド

かごしまけん 鹿児島県では、せいさんりょう 生産量が全国トップクラス、市場等からひんぱつ 品質の評価が高いなど、本県をだいひょう 代表するのうちくさんぶつ 農畜産物を「かごしまブランド」産品としてしゆてい 指定し、県内外で販促活動やPR活動を展開しています。

(令和7年4月)



かごしまのかぼちゃ	J A南さつま	かごしまのユリ	JAあまみ和白事業本部、JAあまみ知名事業本部、沖永良部花き専門農業協同組合
かごしまのピーマン	J A鹿児島もつき、J Aそ鹿児島	かごしまのレザーリーファン	J A種子屋久
かごしまのきゅうり	J A鹿児島もつき	かごしまのたんかん	J A南さつま、J A種子屋久
かごしまのオクラ	J Aいぶすきオクラ部会エコファーマーグループ	かごしまのきんかん	J A南さつま、J A北さつま(川内きんかん専門部会、さつま金柑専門部会)
かごしまのいちご	JAさつま日置東市来いちご部会	かごしまの大将季	J A鹿児島いづみ JAさつま日置果樹部会施設中晩柑部会
かごしまのそらまめ	J A鹿児島いづみ	かごしまの紅甘夏	J A鹿児島いづみ
かごしまの実えんどう	J A鹿児島いづみ	かごしまのマンゴー	J Aさつま日置、J Aいぶすき、J A北さつま J Aそ鹿児島、J A種子屋久
かごしまのばれいしょ	J A鹿児島いづみ、J A鹿児島もつき、J A種子屋久 J Aあまみ徳之島事業本部、J Aあまみ天城事業本部、 J Aあまみ和白事業本部、J Aあまみ知名事業本部	かごしまのパッションフルーツ	瀬戸内パッションブランド産地協議会、J Aそ鹿児島
かごしまのさつまいも	J Aいぶすき、J A南さつま	桜島小みかん (GI)	J A鹿児島みらい
かごしまのごぼう	J Aあいら、大隅ごぼう団地管理組合	かごしま茶	県内全域71団体282銘柄
かごしまのらっきょう	J A南さつま	鹿児島黒牛 (GI)	県総務連、(株)ナンチク
かごしまのブロッコリー	J A種子屋久	かごしま黒豚	県内全域11団体
かごしまのこまつな	一里原園芸組合	かごしま地鶏	県内全域11団体
かごしまのキノ	J Aそ鹿児島	かごしまの米	J A北さつま伊佐水稲部会県認証伊佐米推進部会 JAさつま日置農協金峰地区水稲部会特別栽培米専門部会

ほとんどの農家には、耕うん機やトラクターがあります。国や県では、農業機械を導入する際に補助金を出すことがあります。農作業に機械を取り入れることによって、人手を少なくすることができるとともに仕事が大変はかどるようになります。



① ハーベスターによるさとうきびの刈取り

沖永良部島では、黒毛和牛種の繁殖雌牛を飼育し、生まれた子牛を市場に出しています。2か月に1回セリ市が行われ400頭以上の子牛が取引されます。牛のふんはたい肥のもとになるので、農作物にとっても大切です。



① 共進会（牛のコンクール）

### (3) 作物の送り先

おきのえらぶじま  
沖永良部島の作物の中心は、さとうきび  
です。さとうきびは製糖工場せいとうこうじょうで原料糖げんりょうとうに  
されます。工場で作られた原料糖は、宮崎  
県日向市ひゅうがしや静岡県清水市しずおかけんしみずしにある製糖工場せいとうこうじょうに  
送られ、白糖はくとうやグラニュー糖とうかこうに加工されます。



① 製糖工場



① 出荷されるじゃがいも

あたた  
暖かい気候を生かした園芸作物（じゃがいも・さといも・インゲンなど）は、  
東京とうきょう・名古屋なごや・大阪おおさか・北九州かごしま・鹿児島など  
の市場しじょうで売られています。

沖永良部の牛は、農家が栽培さいばいしているローズグラスろーずぐらす（自給粗飼料じきゅうあらしりょう）という草を食べて育ちます。このローズグラスを主に食べて育った牛は、病気びょうきにかかりにくく、引き締まった体しをしているので、取引先の県内外ひいくのうかの肥育農家よろこに大変喜ばれています。



① 牛せりにかけられるえらぶ

エラブリは、日本だけでなく外国がいこくにもその名が広く知られています。高知や千葉、福岡や埼玉など、全国各地ぜんこくかくちに送られます。葉たばこは、県外の日本たばこ産業株式会社さんぎょうかぶしきがいしゃ（JT）へ送られます。また、キクラゲは、島内のスーパーマーケットだけでなく島外とうがいへも出荷しゅっかされています。

# Ⅲ くらしをまもる

## Ⅰ 火事が起きたら

### 学習の めあて

- 沖永良部島では、どれくらい火事が起きているのでしょうか。
- 消防しよの人たちは、どのようなことをしているのでしょうか。
- 火事をふせぐために、どんな人たちが、どのような工夫やど力をしているのでしょうか。

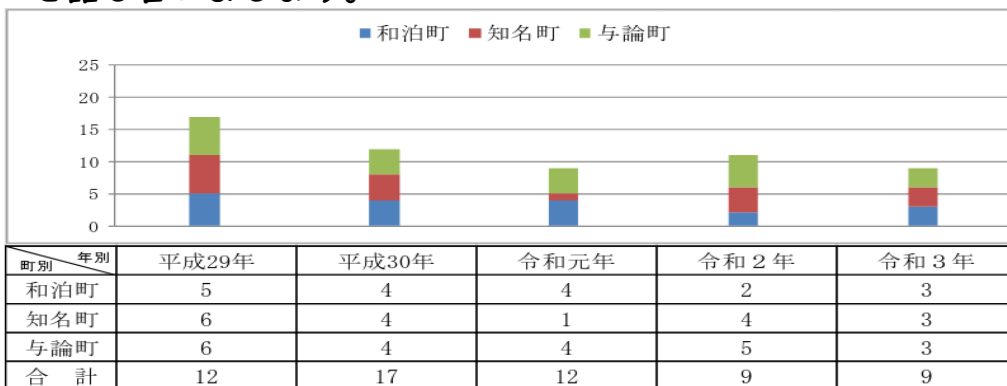
### (1) おそろしい火事

火事が起きると、建物がもえるばかりでなく、人の命や大切な財産までうばわれてしまいます。



🔴 火事の実験の様子

下のグラフや表を見て、気づいたことを話し合みましょう。



### 🔴 各町の火事の発生件数（沖永良部消防署調べ）

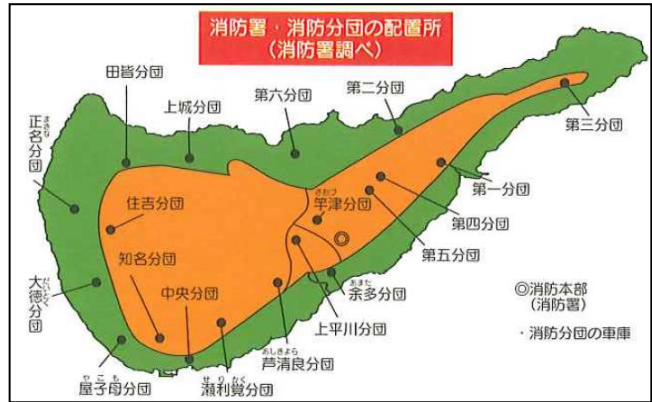
資料：鹿児島県消防保安課  
期間：令和3年1月～12月

順位	(2)	(6)	(1)	(6)	(6)	(6)	(2)	(4)	(4)	(5)	(6)	(6)	—	—	計				
	たき火	放火の疑い	火入れ	たばこ	電灯電話等の配線	電気機器	配線器具	こんろ	風呂かまど	マッチ・ライター	ストーブ	焼却炉	放火	電気装置	灯火	溶接機・切断機	その他	不明・調査中	
件数	4	1	9	1	-	1	1	4	-	3	-	-	-	2	1	1	7	23	58
前年件数	5	1	11	6	2	3	-	3	2	4	-	-	1	-	1	-	8	11	58
前年順位	(3)	(9)	(1)	(2)	(7)	(5)		(5)	(7)	(4)			(9)		(9)		-	-	
増減数	△1	-	△2	△5	△2	△2	1	1	△2	△1	-	-	△1	2	-	1	△1	12	-

### 🔴 鹿児島県内での火事の原因(令和3年)

## (2) 火を消すしくみ

沖永良部島には一つの消防署と19の消防分団があります。消防署の人たちは、119番を受けたときに、できるだけ早く火事の現場にかけつけて消火できるように、日ごろから訓練をしています。



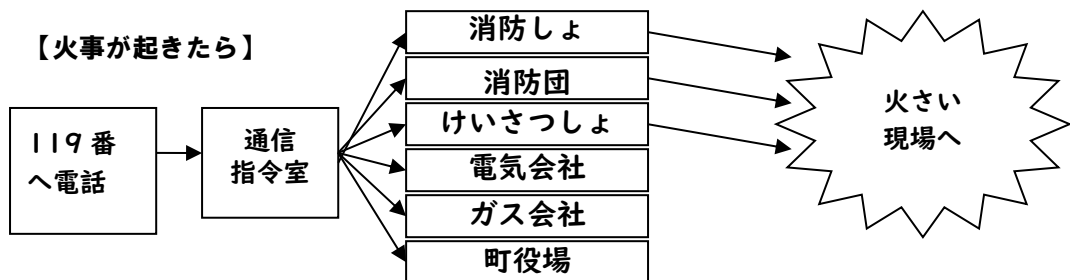
消防分団の人たちは、ふだんは、それぞれ別の仕事をしています。火事を知らせるサイレンや放送が入ると、どんなにいそがしい仕事をしていても、すぐに現場にかけつけ、消防署の人たちと協力して消火にあたります。

### 【消防署の人の話】

沖永良部島で火事が起きると、<sup>つうしん しれい</sup>通信指令室から<sup>れんらく</sup>連絡が入り、それを聞いてすぐに出動します。

出動中には無線で火事の様子や内容などを聞きながら、<sup>かさいげんば</sup>火災現場にかけつけます。

<sup>しょうぼう</sup>消防自動車に乗る<sup>いち わり き</sup>位置や役割も決まっています。夜でも出動できるように交代で<sup>と</sup>泊まり、<sup>かみん</sup>活動服を着たまま仮眠室で休みます。



### (3) 火事をふせぐくふう

消防しょや消防団の人たちは、ふだんから消防くんれんや消防自動車の手入れをして、火事にそなえています。消火栓や防火水槽の場所の確認も行っています。

また、火事を起こさないようにするために、建物をつくる前から検査をして指導したり、ガスもれの検査やふろ場の点検などをよびかけたりしています。

学校や病院などでも、ひなんくんれんをして、火事にそなえています。みなさんも、ひなんくんれんの時のことを思い出して、どうすれば安全にひなんできるか、考えてみましょう。

	分団	字	防火水槽	消火栓		分団	字	防火水槽	消火栓
知名町	中央	小米	10	5	和泊町	第1	和泊	8	25
	知名	知名	12	12			手々知名	4	15
	屋子母	屋子母	9	7			喜美留	5	6
	大徳	大津勤徳時	6	7			詩崎	4	4
						第2	畦布	4	4
	住吉	住吉	8	12		出花	4	4	
	正名	正名	6	7		和	4	5	
	田皆	田皆	13	15		伊延	1	1	
	上城	上城	11	8		第3	国頭	8	12
		下城					西原	2	4
		新城				第4	玉城	5	7
	上平川	上平川	10	8			根折	4	5
	竿津	竿津	11	8		第5	大城	4	6
		久志検					古里	3	4
		赤嶺					皆川	4	3
	余多	余多	10	12		第6	内城	3	3
		屋者					瀬名	2	3
		下平川					永嶺	3	4
芦清良	芦清良	6	8	仁志	3		1		
瀬利覚	瀬利覚	15	18	谷山	2		1		
	黒貫			後蘭	3		4		
合計			127	127	合計			80	121

↑ 沖永良部にある消火設備の数



## 2 事件や事故がおきたら

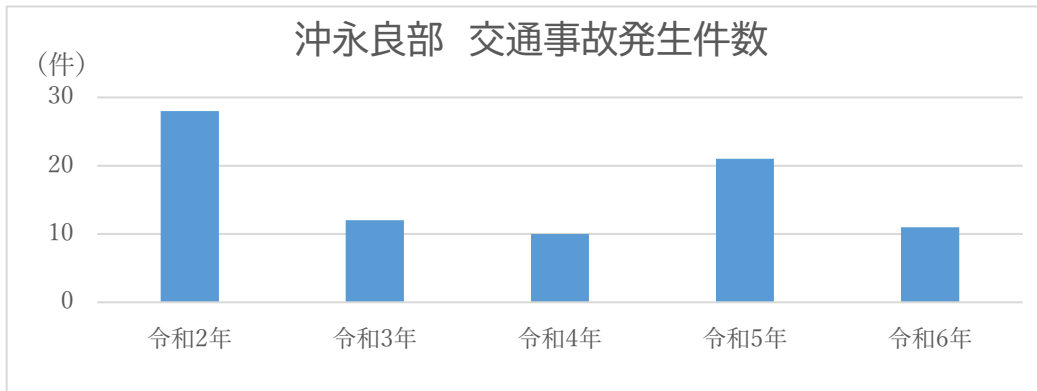
### 学習の めあて

- 沖永良部島では、どんな原因でどれくらいの交通事故が起きているのでしょうか。
- わたしたちの身のまわりでは、事故や事件をふせぐためにどんな人たちが、どんな工夫や努力をしているのでしょうか。

#### (1) おそろしい交通事故

わたしたちの身のまわりでは、毎月のように交通事故が起きています。事故がおこるたびに、だれかがけがをしたり、たいせつな命をおとしたりすることがあります。

交通事故は、どのくらいのけん数起きているのでしょうか。また、どのような原因や、どのような場所でおきているのでしょうか。



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
件数 (件)	28	12	10	21	11
死者 (人)	1	2	0	1	2
けが (人)	29	10	10	25	10

(沖永良部警察署調べ)

交通事故こうつうじこがおこるおもな原因げんいんは、前方不注意ぜんぽうふちゅういと安全確認不足あんぜんかくにんぶそくです。まわりの安全あんぜんを十分にたしかめられなかった理由りゆうの中には、わき見運転うんてんやいねむり運転うんてん、飲酒運転いんしゅうんてんなどがあり、大きな事故じこへつながってしまっています。

また、交通事故こうつうじこがおこりやすい場所ばしょとして、道路どうろと道路どうろがまじわる交差点こうさてんや、車の出入りが多いちゅうしゃ場などがあげられます。

## 交通事故にあった人の話

わたしが交通事故こうつうじこにあって、この病院びょういんに入院にゅういんしてから、2カ月あまりになります。わたしは、その日、自転車じてんしゃにのっておすこの家に行くとき、わたくしが左に曲がろうとしたとき、後ろから来た乗用車じょうようしゃがぶつかってきて、自転車じてんしゃごとみぞに落ちてしまい、大けがをしました。なにがおこったのかが、よくわからないまま、わたしは病院へはこばれていました。

それから、しばらく入院することになったわたしは、けがのいたみとたたかいながら、つらいリハビリをしました。乗用車じょうようしゃにのっていた女の方は、毎日のように病院にお見まいにきてくれて、病院でかかるお金も全部はらってくれました。

交通事故こうつうじこは、事故をおこした人に大きな責任せきにんがあります。また、けがをした方とけがをさせた方の両方りょうほうが、長い間苦しむことにもなります。わたしは事故がおこったあのときを思い出すたびに「おたがいもっと気をつけておけばよかった」と思います。

## (2) 交通事故や事件をふせぐために

おそろしい交通事故や事件がおこらないように、どのような人たちが、どのように工夫し努力をしているのでしょうか。

沖永良部では、春や秋の交通安全運動期間や学校の始業式・終業式などに、警察署の方はもちろん、交通指導員の人たちが、こうさ点やおうだん歩道、学校近くで、交通指導やパトロールをしてくれています。また、警察の方は、みなさんが交通事故や、事件にまきこまれないように、学校のちかくをゾーン30にしたり、学校で交通安全教室やふしんしゃ避難訓練をおこなったりしています。

ほかにも、町役場の人や学校の先生、PTAや地域の人など、多くの人がみなさんの安全を見守ってくれています。



↑ 交通安全教室のようす



↑ 登校指導のようす



↑ ゾーン30

## 警察署の人の話

事件や事故で、110番の連絡をすると、すぐに警察本部の通信指令室というところにつながります。

連絡をうけた通信指令室では、すぐにげん場近くの警察署やパトカー、白バイなどに急行するように指令を出します。とくに交通事故がおこると、警察官がげん場をしっかりと調べて事故に対応します。また、けが人がいるときには、消防署や病院にも連絡を取り、救急車をお願いしたり協力をもとめたりします。

警察署では、みなさんが毎日元気に生活できるように願いながら、たくさんの活動をしています。その中でみなさんにいつもわすれず覚えていてほしいことは、「自分の命は自分で守る」ということです。歩くときや自転車にのるときの交通ルール（ヘルメットをか  
ならずかぶる）をしっかりと守り、いつも安全に気をつけて、すごしてほしいと願っています。

### (3) わたしたちにできること

友だちや先生と、自分たちにできることを考えてみましょう。

- 登下校では、つうがくろを歩き、おうだん歩道を利用する。
- 自転車にのるときは、かならずヘルメットをかぶる。
- 「いかのおすし」をまもる。



○大切な海やみんなの安全を守る海上保安庁

わたしたちの住んでいる日本は、まわりを海に囲まれた海洋国です。  
 人や物を船で運んだり、みんなが食べるお魚を捕ったり、私たちの  
 生活にとって海はとても大切です。

海上保安庁は、巡視船や航空機も使いなが  
 次のような仕事をして、みんなの安全や  
 大切な海を守っています。



©JCGF



海の安全を守る



生命を救う



災害に備える



海の交通安全を守る



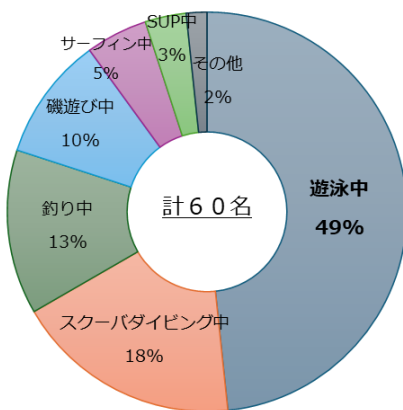
海を知る  
 (海の地図を作る)



青い海を守る

○海の事故について

マリナーズに伴う海浜事故 (5年間集計)



グラフからは、遊泳中の事故が多いということがわかります。

みなさんも奄美のきよら海で遊ぶことがおおいかと思いますが、海で遊ぶ時は、1人ではなく必ず大人と一緒に遊ぶようにしてください。



©JCGF

○奄美群島にも海上保安庁はあるの？

奄美群島には、奄美市の奄美海上保安部と瀬戸内町の古仁屋海上保安署があります。古仁屋海上保安署の巡視艇いそなみには潜水士が乗船しています。潜水士は厳しい訓練の中で選ばれた人命救助をするスペシャリストです。



○海の事故は118番へ

海で事故や事件がおきたときは、118番に電話すると、24時間いつでも海上保安庁の人が来てくれるよ！

**海のもしもは、118番**



©JCGF

○みんなの安全や海を守るための約束

海に一人で出かけたり、波が高いときに遊んだりしない！

海にゴミを捨てない！たくさん海のことを勉強して、みんなで大切な海を守ろう！！

### 3 風水害からくらしを守る

#### 学習の めあて

- わたしたちの沖永良部島は、台風によってどのようないきょうをうけているのでしょうか。
- 昭和52年の「沖永良部台風」のひがいは、どれくらいだったのでしょうか。
- 台風のひがいをふせぐために、町ではどのような工夫や努力をしているのだろうか。

#### (1) 台風のひがい

あまみ地方にすむ人たち一番心配しているのは、毎年はっせいする台風です。あまみ地方では「台風ぎんざ」とよばれ、夏から秋にかけて、大きな台風によくおそわれます。台風で家がこわされたり、さとうきびや、きく、ゆりなどの農作物が、一日でだめになったりしてしまふことがあります。また、台風のために、学校が休みになることや、早めに下校することもあります。

これまでの中で、とくにひがいが大きかったのが、昭和52年に島をおそった「沖永良部台風」です。この台風で、わたしたちの島はこれまで経験したことがないような大きなひがいをうけました。そのころのようすを、家の人やちいきの人に聞いて、調べてみましょう。



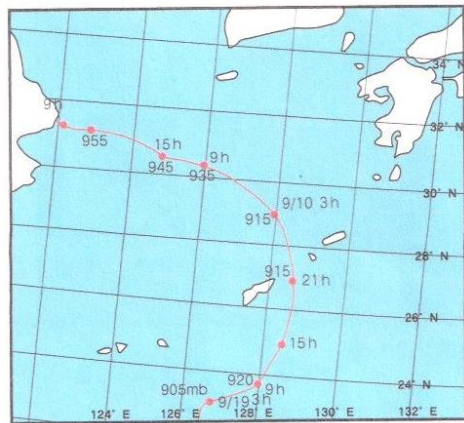
台風のひがいをうけた家

■ 「沖永良部台風」の被害（鹿児島県警本部調べ）

項目	知名町	和泊町	合計
けがをした人	30	58	88人
こわれた家	2488	2235	4723件
家がこわれた人	7410	4574	11984人
農作物の被害	3億9千万	3億1千万	約7億円

■ 「沖永良部台風」の経路図

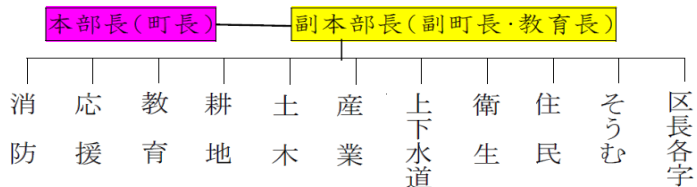
(1977年9月9日  
22時10分)



(2) 被害を防ぐために

沖永良部島では、台風から自分たちの生活を守るために、和泊町と知名町がお互いに協力して、いろいろな努力をしています。

台風によっておこる風や海水から農作物を守るために、防風林を植えたり、防潮堤や防波堤をつくったりしています。また、港には、消波ブロックをおいて、大波の被害を最小限におさえる努力をしています。



本部対策組織図（和泊町）

# Ⅳ 住みよいくらしをつくる

## Ⅰ ごみのしよりと利用 Ⅳ 住みよいくらしをつくる

### 学習の めあて

- 自分たちの家や学校から出されているゴミは、どのように処理されているのでしょうか。
- ごみをへらすために、どのような取組や工夫をしているのでしょうか。



↑ 沖永良部クリーンセンター(和泊町)



←クリーンセンターでの作業の様子

### 1年間に出るごみの量 (沖永良部島)



上のグラフからもわかるように、わたしたちの生活からは、毎日たくさんのごみが出ています。わたしたちが出したごみは、どこでどのように処理されているのでしょうか。

また、ごみの処理について課題はないのでしょうか。疑問に思ったことを話し合ってみましょう。

# (1) ごみのゆくえ

## クリーンセンターで働いている人の話

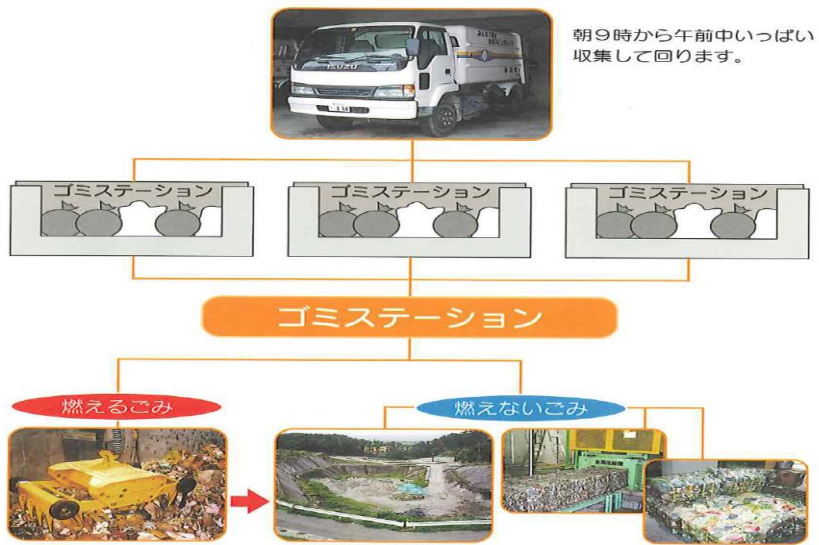
沖永良部クリーンセンターでは、燃えるごみ、燃えないごみ（空き缶・ガラスなど）、ペットボトル、発泡スチロール、空きびんの5つに分別により、週5日収集を行っています。燃えるごみは焼いて灰にし、燃えないごみは分別してリサイクル、処理できないものはうめ立てています。正しい分別については、7割～8割はできています。しかし、ペットボトルのラベルがついたままだったり空きびんのふたをはずさないままだったりと分別のマナーが守られていないことがあります。また、燃えるごみの中に燃えないごみが入っていることもあり、機械の故障の原因になり、困っています。分別は一人一人の心がけてできることです。正しい分別を心がけてほしいです。



手作業でラベルや  
ふたをはずします→



ごみしよ理のしくみ



## (2) ごみをへらして美しいまちづくり

現在のしせつや処分場<sup>しよぶんじょう</sup>でごみを処理できる期間はあと15年から20年と言われています。できるだけ長い期間処分場<sup>しよぶんじょう</sup>を使えるようにするためにも、ごみをへらす工夫<sup>くふう</sup>を心がけることが必要<sup>ひつよう</sup>です。まちからごみがへることは、美しいまちづくり<sup>うつく</sup>へとつながっていきます。ごみをへらすために、どんなことができるかをみんなで考えてみましょう。

### ごみをへらすには

買うときにできることは何があるかな？



買った物を使った後<sup>あと</sup>にできることは何があるかな？

### まちづくりのために



みんなで使うごみステーションや公園<sup>こうえん</sup>をきれいにたもつには、どうすればいいかな？



## 2 水はどこから

### 学習の めあて

- 水が、わたしたちのところへとどくまでのしくみは、どうなっているのでしょうか。
- 安心して水が使えるために、どんな人たちが、どのような工夫や努力<sup>と</sup>をしているのでしょうか。

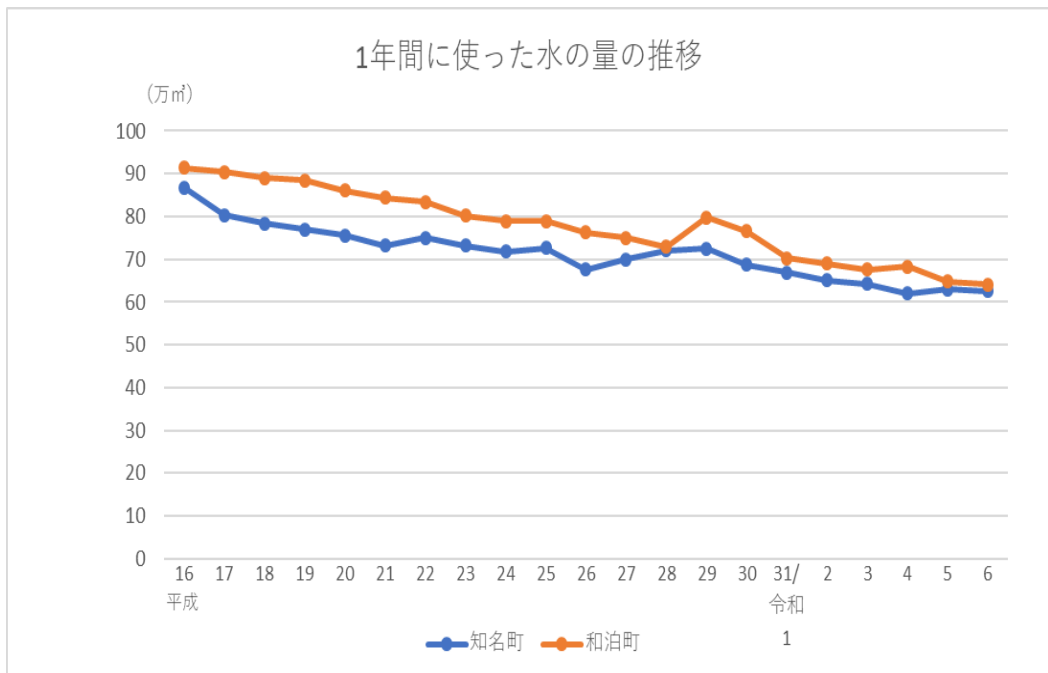
#### (1) たいせつな水

水は、わたしたちの生活の中でとても大切な役わりを持っています。生活の中で、水を使っている場面の様子を思い出してみましょう。

また、わたしたちが学校や家庭で使っている水は、どこからどのようにして送られてくるのかを考えてみましょう。



学校にじゃ口は、いくつあるでしょう。



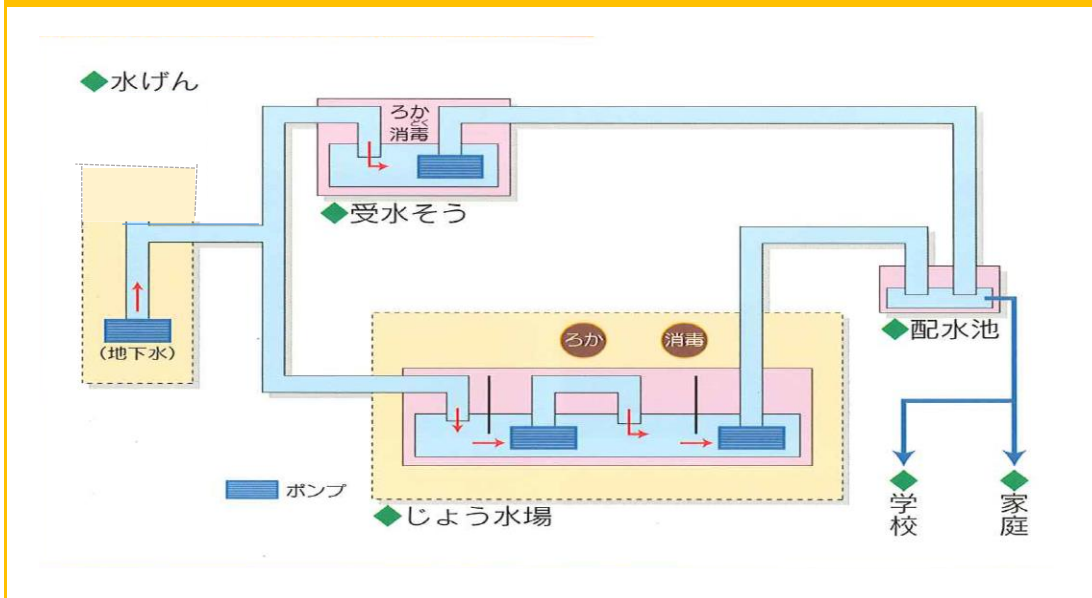
## (2) じゃロの水がとどくまで

わたしたちの沖永良部島には、大きな川や湖がありません。そのため、地下からくみ上げた水が大切な水げんになっています。

ポンプでくみ上げられた地下水は、<sup>じゅすい</sup>受水そうやじょう水場に運ばれ、よごれやごみを取りのぞき、<sup>どく</sup>消毒されてきれいな水になります。その後高いところにある<sup>かくはいすいち</sup>各配水池へ集められ、そこから道路の下をあみの目のようにはりめぐらされた配水管<sup>かん</sup>を通して、家や学校のじゃロがついているところへ送られます。

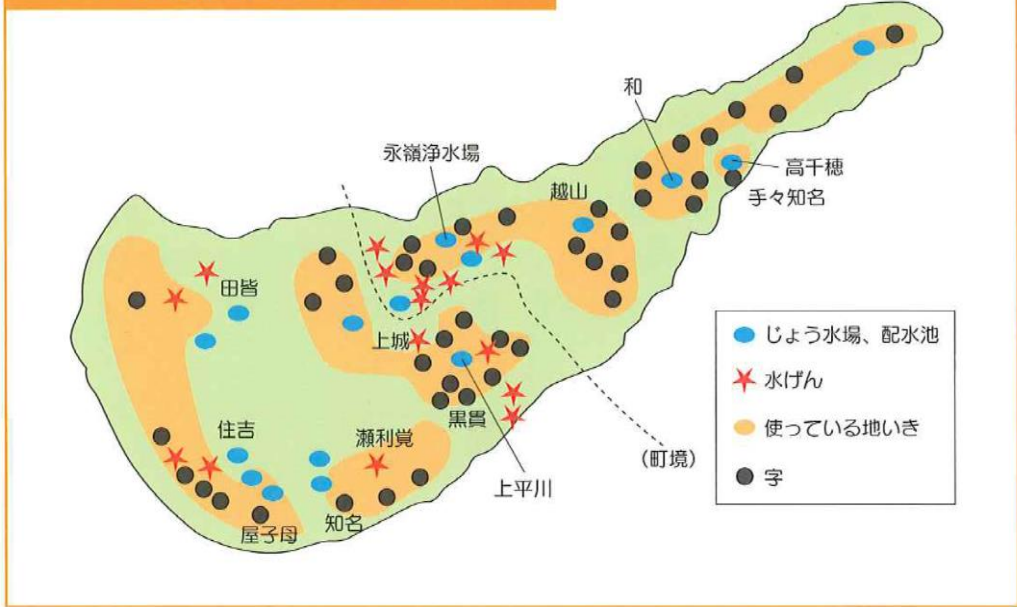


## 水が家にとどくまで



わたしたちのふだん使っている水は、どこから、どのようにしてきているのでしょうか。水の流れをたどって、まちにある水に<sup>かんけい</sup>関係するしせつやせつびをくわしく調べましょう。

# どこから水がとどくのだろう



浄水場（和泊町永嶺）



水げん（知名町赤嶺）



浄水場塩素投入機



配水池（和泊町和）



配水池（知名町上平川）



ろ過機（和泊町後蘭）



水げん（知名町住吉）



急速ろ過装置（知名町上平川）

### (3) 安心して水を使えるために

雨があまりふらない季節には、地下水もたまりません。水不足になったり、しくみにこしょうが起きたりすると、自由に水道の水を使うことができなくなります。そうならないために、働く人々はどんな工夫や努力をしているのでしょうか。また、わたしたちはどんなことを考えて、大切な水を使っていけばいいのでしょうか。

#### 和泊町生活環境課の方の話

断水のない和泊町を目指して仕事をしています。テレメーターなどの機械を使って、こしょうや調子の悪いところをすぐ発見して、修理に行けるしくみを整えています。夜でも、水道の調子が悪くなったときにはすぐに対応できるように、職員の携帯電話に自動で連絡がいくようになっています。

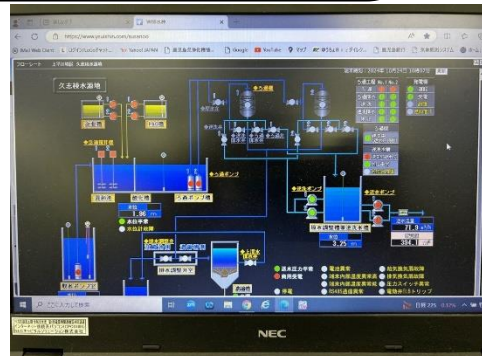


#### 知名町上下水道課の方の話

知名町の水道水は地下水をくみ上げて使っています。山の木をたおして開発が進むと、地下水をたくわえる力が弱くなってきます。水がなくなってからではおそいですよね。水げんを供給してくれる山の木を守り、毎日の生活の中で水を大切に使うてもらいたいものです。



No.	区画	流量	異常発生
1	30240101	22,791.19	異常発生なし
2	30240102	22,791.19	異常発生なし
3	30240103	22,791.19	異常発生なし
4	30240104	22,791.19	異常発生なし
5	30240105	22,791.19	異常発生なし
6	30240106	22,791.19	異常発生なし
7	30240107	22,791.19	異常発生なし
8	30240108	22,791.19	異常発生なし
9	30240109	22,791.19	異常発生なし
10	30240110	22,791.19	異常発生なし
11	30240111	22,791.19	異常発生なし
12	30240112	22,791.19	異常発生なし
13	30240113	22,791.19	異常発生なし
14	30240114	22,791.19	異常発生なし
15	30240115	22,791.19	異常発生なし
16	30240116	22,791.19	異常発生なし
17	30240117	22,791.19	異常発生なし
18	30240118	22,791.19	異常発生なし
19	30240119	22,791.19	異常発生なし
20	30240120	22,791.19	異常発生なし

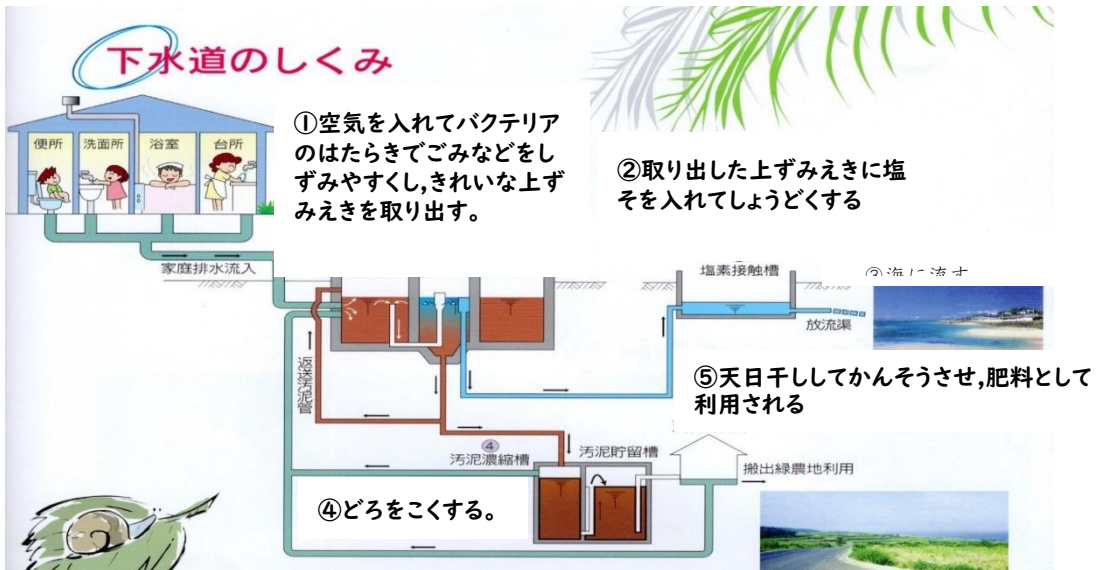


【監視システム】

#### (4) 大切な水をくり返し使う工夫

和泊町では、家庭や学校で使われて汚れた水（汚水）を、1日に平均約1025 m<sup>3</sup>処理しています。知名町には、知名・住吉・田皆の3か所に下水処理のしせつがあり、1日に平均約1211 m<sup>3</sup>しよりにしています。沖永良部島の下水道は、雨水と汚水を別々にしよりにしています。雨水は道路の側溝（みぞ）や水路を利用してため池や海に流しています。一方、家庭や学校から出た汚水は、地下にうめられた下水道管を通じてしよりに場に集められています。

下水しよりに場では、目に見えないび生物の力を利用したり、薬を使って消毒したりして、水をきれいにします。





←和泊町浄化センター



知名環境センター資料（抜粋）

←反応タンク：空気を入れてバクテリアのはたらきでごみなどをしずみやすくする。

## (5) 下水道の役割とくふう

下水道は、よごれた水をきれいにしたり再利用したりするなど、わたしたちの生活かんきょうをえい生的で快てきにする役割を果たしています。また、生活はい水や工場はい水によって川や海がよごれることを防ぐ重要な役割があります。

下水道施設の工事は、和泊町では平成22年に、知名町では平成23年に完了し、現在約9割の町民が下水道に接続できるようになり、実際に約6～8割の町民が利用しています。下水道が通っていない地域では、浄化そうを設置し、下水を処理しています。これから、人々が快てきな生活を送ることができるよう、古くなった施設の更新を進めていきます。

## りょうちょう げすいしよりにたんとく かた はなし 両町の下処理担当の方の話

私たちは、普段は機械が正常に作動しているか監視したり、機械の清掃をしたり、天日干して乾燥させた汚泥の回収をしたりするなど、役割を分担して作業しています。少ない人数で作業しているのも機械の故障や不具合が起ると、とても大変です。機械の故障の原因で特に困るのは、家庭で流した油が下水管につまったり、トイレトーパー以外のものがポンプを動かす機械にからまったりすることです。そうすると、道路や家庭に汚水が逆流しあふれるなど、とても大変な事態になってしまいます。そして、その近辺の家庭や地域に迷惑をかけてしまうことになるのでトイレトーパー以外のものは絶対に流さないということを守ってほしいです。



沖永良部では、自然環境を守る取組として、両町一緒に汚泥の資源化を行っています。乾燥させた汚泥を開発組合（和泊町）に運びサトウキビのかすと混ぜ合わせて開発組合が肥料として販売しています。



↑ 下水管につまっていた油のかたまり



↑ 汚水の流水口にあるかごで取り除くことのできなかった油のかたまり（手作業で取る）



↑ 肥料となる乾燥させた汚泥

## V きょうどにつたわるねがい



### 学習の めあて

沖永良部島では、くらしをゆたかにするために、どのような工夫や努力をしてきたのでしょうか。

私たちの先祖<sup>せんそ</sup>は、ずっとむかしから、くらしをゆたかにするために、いろいろなくふうや努力<sup>どりよく</sup>をつみ重ねてきました。あれた土地を開いて田や畑にしたり、風の害<sup>がい</sup>を防ぐために、防風林<sup>ぼうふうりん</sup>をつくったり、ため池や用水路<sup>ろ</sup>をつくって田に水を引いたりして、作物の取れ高<sup>だか</sup>をふやすためのくふうや努力をしてきました。また、きょう土の文化を発てんさせるためにがんばってきた人もいます。

沖永良部島の発てんにつくしてきた人々のくふうや努力についてくわしく調べてみましょう。

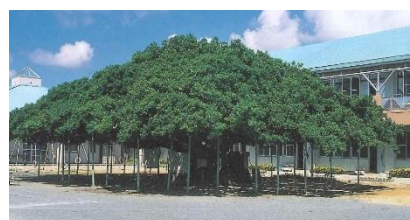
### れきしさがしをしよう



【高倉】



【記念碑】



【記念樹】

# 1 人々のねがいとため池づくり

## 学習の めあて

- 水が、わたしたちのところへとどくまでのしくみは、どうなっているのでしょうか。
- 安心して水が使えるために、どんな人たちが、どのような工夫や努力<sup>と</sup>をしているのでしょうか。

### (1) 集落に見られるみぞ（用水路）とため池

よう子さんたちは、地いきのれきしたんけんで、小さなみぞを発見しました。



④ 小道のすみのみぞ（用水路）



④ 畑のすみのみぞ（用水路）

みぞをたどっていくと、畑に続いていたり、古いため池の方に向かったりしていました。そこで、みぞについてくわしく調べると、ほとんどのみぞがため池の方へ続いていることがわかりました。



④ 今も利用しているため池（国頭）

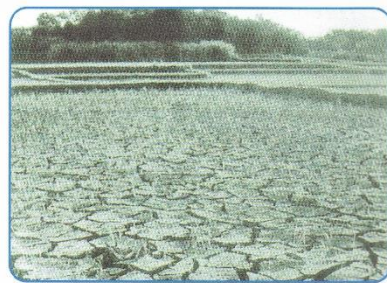


- ◆ 人々は、どのような願いをもっていたのでしょうか。
- ◆ 昔は、米作りがさかんに行われていたのでしょうか。
- ◆ ため池からは、どのようにして水をひいたのでしょうか。

## (2) 人々の願ねがい

むかしは、ため地や用水路がないところは、天水(雨水)にたよるしかありませんでした。

集落の上の方にホー(泉)がありました  
が、いつでも水を引くことができる田以外  
は、日でりが続くと田の水が干あがってわれ目が入り、いねの根を引  
きさいてやがて立ちがれてしまい、米の収か<sup>く</sup>がまったくできない年もあ  
りました。



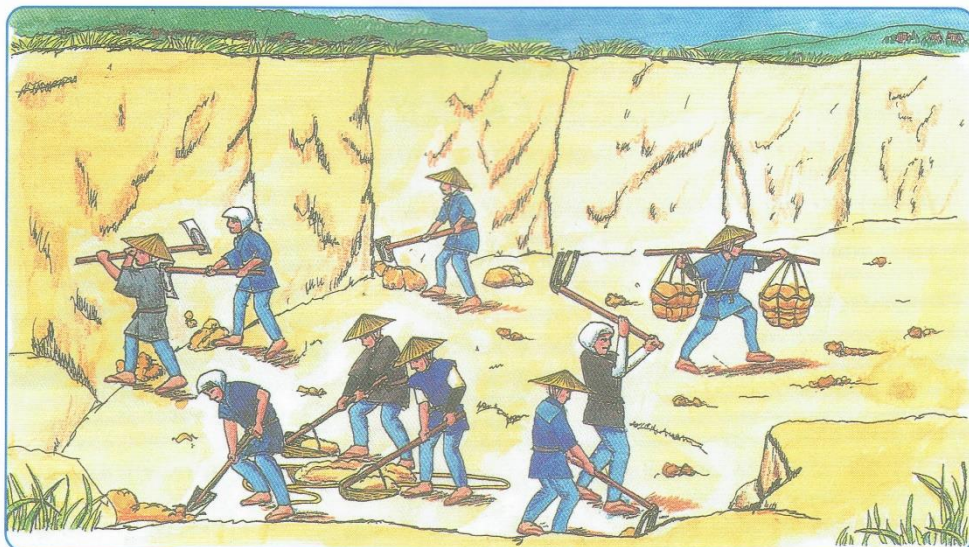
① 干あがった田

そのため、集落の人々は、「水を引いていねを実らせたい。」「米のご  
飯<sup>はら</sup>を腹いっぱい食べたい」という願いをいつももっていました。

家庭でも、「お米ひとつぶには、八十八人の神様がいらっしゃるんだ。  
ひとつぶでもそまつにしないように。」と、教えられていました。

人々は、くらしをゆたかにするために、たくさんの米をつくりたいと考  
え、そのためには、ため地をつくり、日でりの害<sup>ふせ</sup>を防がなければと思いま  
した。

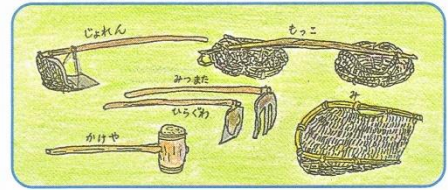
また、ため池をつかって水を引けば、新田もできてもっとたくさんの米  
がとれるだろうと考える人々もいました。



① むかしのため池づくりのようす

### (3) ため池をつくる

今からおよそ 350 年前の地図を見ると、沖永良部島には 11 力所にため池をつくってあることがわかります。



↑ 工事に使われた道具

今では、およそ 120 力所ものため池があります。なぜ、このようにたくさんのため池をつくったのでしょうか。そして、どのような使い方をしているのでしょうか。

#### 《ため池が多いわけ》

沖永良部島は、台地になっており、山が少なく、森林に乏しいために大きな川がありません。年間の平均雨量は多いけれど、雨はドリーネ（くぼ地）に流れ、すぐ地下水になって



↑ 水くみの様子

しまい昔から水資源の確保はたいへんむずかしかったそうです。しかし、島の中心産業である農業は、たくさんの水を必要とします。そこで、島内の各地でため池づくりが始まりました。各集落に見られるため池は、今からおよそ 140 年前までにできたものです。人々は、ため池の保水力を高め、長い間利用するため、改良を重ねてきました。そして、ため池の近くに小規模の新田もつくられました。

ため池づくりと同時に、用水路もつくりました。当時は、コンクリートなどの保水力のある用水路はできませんでした。くわで、畑のすみや小道のすみをほるだけのかんたんなものでした。ため池から人の手で水をくみ上げていたので、用水路に水がしみこんで、田へ水が流れてくるまでは、ずいぶん時間がかかりました。少しでも水のしみこみをへらそうと、人々は、ねん土しつ<sup>きぼ</sup>のやわらかいつちをつくり用水路にぬりつけて、水もれを防いでいました。



↑ 水路完成記念ひ（仁志）



そこで、台風が来る前に、かりとれる米づくりやたくさんとれるようにするために、人々はいろいろと努力してきました。

## 美野入間の研究 (奄美で初めての米の二期作の成功)

美野入間は、米づくりに熱心な人でした。いねをかりとった切りかぶから出ている芽をみて、「これに肥料を入れたら実るかもしれない。」と考へて、ためしてみました。しかし、切りかぶは、かれてしまうものが多く、実りが少ないために、この研究は失敗に終わりました。



↑ 入間の記念ひ

しかし、それでくじける入間ではありません。村人たちに米のご飯を食べさせたいという、ただひとつの思ひで、二期作(1年間に、同じ田で2回米をつくる)の研究に励みました。

新しい米の種えらびをしたり、なわしろづくりの工夫をしたりしました。いねの花が出るころやってくる台風の害を防いだり、すずめやねずみの害などを防ぐ方法を考へたりしました。

けれども、村人たちから相手にされず、たいへん苦勞しました。研究をはじめて7年間、苦心に苦心を重ね、二期作を完成させました。その成功によって、人々も二期作をするようになり、大島郡内に広まっていきました。

### (6) ため池の改良と作物づくりの変化

二期作ができるようになると、年間を通して水が必要になります。必要なきにいつでも使えるため池や用水路をめざして、人々はコンクリートでため地のまわりをかためたり、用水路をつくったりしました。今では、ほとんどのため池のまわりや底にゴムシートをはって、水もれを防いでいます。しかし、水がたまらないので、利用できないという苦情もあります。

今からおよそ 50 年前から、我が国では、食生活の  
へんか 変化や米の生産高せいさんだかが多くなり、米があまるようになって  
 きました。そこで国は、転作てんさく(米以外の作物にかえる)を  
 しょうれいするようにになりました。米づくりがさかんに行  
 われていた沖永良部島では、田を畑にかえてさとうきび  
 を中心とした畑作農業はたさくのうぎょうに力をいれるようになりました。



↑ 田いものさいばいあかみね (赤嶺)



↑ ほりあげた田いものさいばい

今では、ホー(泉)がある近くの田で田いもの栽培さいばいをしているところがあ  
 るだけで、ほとんどの田が畑になってしまいました。

## 2 古い道具と昔の暮らし

### 学習の めあて

古い道具を使っていたころの人々のくらは、  
どんな様子だったのでしょうか。

#### (1) れきし民ぞく資料館をたずねて

まさるさんたちは、昔の米づくりに使われた  
道具や家のつくりを調べるために、和泊町にあ  
るれきし民ぞく資料館にやってきました。

れきし民ぞく資料館には、昔の農作業に使  
た道具や昔の生活に使っていた道具などがて  
んじしてありました。また、昔の家のふく元もしてありました。

たずねる前にみんなで話し合い、絵カードにまとめることにしました。  
そして、絵カードをもとにして、昔の人々の仕事やくらしについてわか  
たことをまとめたり、ふしぎに思ったことをメモしたりしました。

みなさんも、古い道具を使っていたころ、人々のくらしのようすについ  
て調べましょう。



↑ れきし民ぞく  
歴史民俗資料館

#### (2) おじいさんやおばあさんが子どものころ

るみ子さんたちは、学校の近くに<sup>す</sup>住<sup>のうか</sup>む農家のおじいさん・おばあさん  
にお願<sup>ねが</sup>いして、子どものころのお話を聞きました。

二人は、家にある道具を持ってきて、使い方を教えてくれたり、しつ問  
にこたえてくれたりしました。

### おじいさんの話

これは、昔のランプです。油を入れて火をつけます。  
みなさんが知っているアルコールランプみたいなもの  
ですよ。あげジミ(しん)といって、火がついているし  
んを上の方にあげると、油をよくすいあげて明るく  
灯<sup>とも</sup>ったものです。夜に出かけるときは、ヒナランプ  
を使いました。持ち歩きにべんりなくみになっていましたよ。でも、雨  
や風の強いときは、灯<sup>ひ</sup>が消えないように注意したものです。今は、電気を  
使うのでずいぶん楽になりましたよ。



↑ランプとヒナランプ

## おばあさんの話

わたしが子どものころ、家のつくりはウムティおもや(母屋)とトーグラ(台所のある部屋)に分かれていて、主に生活するところは、トーグラでした。そこには、土間どまがあって水をためておく大きなかめや木材でつくった流し台、ご飯やおかずをにたきするためのハマドウルメ(かまど)などがあり、いろいろな仕事をしたものです。

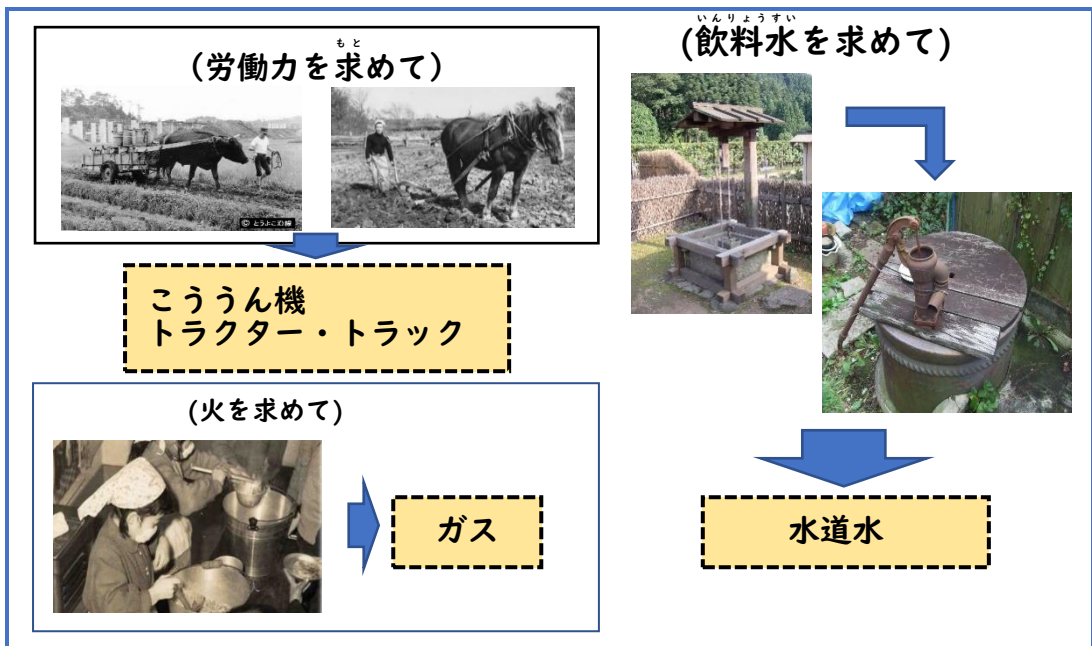


↑トーグラでの夕食

今のようなガスはなく、まきを使っていたので火をおこすために、苦勞したものです。れいぞうこなどの電気せい品はありませんでしたが、道具を工夫して使っていました。また、肉などの生ものは塩づけしおやみそづけにして、長くもたせるようにかめにつけておいたものです。子どもたちも水くみやまきひろいなどのお手伝いをすすんでしました。

### (3) 身の回りの古い道具

きよ子さんたちは、身のまわりにある古い道具をさがすことにしました。大きくて、移動できないものや借りることができない道具は、写真にとったり、カードにまとめたりしました。



### 3 ふるさとれきしマップ

#### 学習の めあて

古い道具のほかに、どんなものがきょうどのれきしをつたえているのだろう。

#### (1) れきしマップをつくろう

たつおさんたちは、説明用パネルに古い道具を校区のだれからかりたかかきこんでいきました。すると、校区のあちこちから集められてきたことがわかりました。

古い道具のほかに、どんなものがきょうどのれきしをつたえているかについて話し合い、れきし発見メモをもとにして、グループごとに分かれて調べました。

↓ 説明用パネル

道具の名前	
かりた人、 地区	
使い方	
くふうしていること	気をつけること

#### 地いきに残る文化財や行事を調べましょう

- みんなに見てほしい大切なもの  
(神社、記念樹、昇竜洞、高倉など)
- 地いきにのこる楽しい祭りや行事  
(おかし行われていた豊年祭や地いきの行事など)
- くらしの中につたわる願い  
(いろいろな記念碑など)

↓ れきし発見メモ

見つけたもの	
見つけた場所	地区
近くの人のお話 ① (教えてくれた人 さん)	
② ? ざもんに思ったこと	

↓ おもな行事

沖永良部島では、昔から、いろいろな祭りや行事が行われてきました。

昔の祭りは、たいてい各集落ごとに神社などで行われていましたが、今では、役場や商工会、農業協同組合などが中心になって行うことが多くなりました。

ふるさと夏祭り・港まつり・文化祭・農業祭などがそうです。昔からの祭りや行事の中で、今はなくなったものもあります。

沖永良部島には、金毘羅・南洲・高千穂・菅原・はみやま・世之主・世並蔵・岬神社など、多くの神社があります。これらの神社では、祭りやすもう大会などがあってたいへんにぎわっていました。

月	行事名 (◎和泊町○知名町◆両町)
1	◆町内一周駅伝大会
2	島内一周駅伝大会 ◎子ども会大会 ◎子ども芸能発表会
3	○島唄・島ムニ大会 ◎花の島ジョギング大会
4	◎さつき相撲大会 ○収穫祭
5	○大山神社祭
7	○四並蔵神社奉納相撲大会 ◆夏祭り(～8月)
10	◆町民体育大会
11	◎文化の祭典 ◆農業祭 ○子ども芸能祭
12	○沖永良部音楽コンクール



なんしゅう  
↑南洲神社(和泊)



よのぬし  
↑世之主神社(内城)



よなみぞう  
↑世並蔵神社(徳時)



↑すもう大会(和泊)



さおうちおど  
↑竿打踊り(国頭)



だいじゃおど  
↑大蛇踊り(下平川)



ししまい  
↑獅子舞(瀬利覚)



↑イシシハカマ(西目)



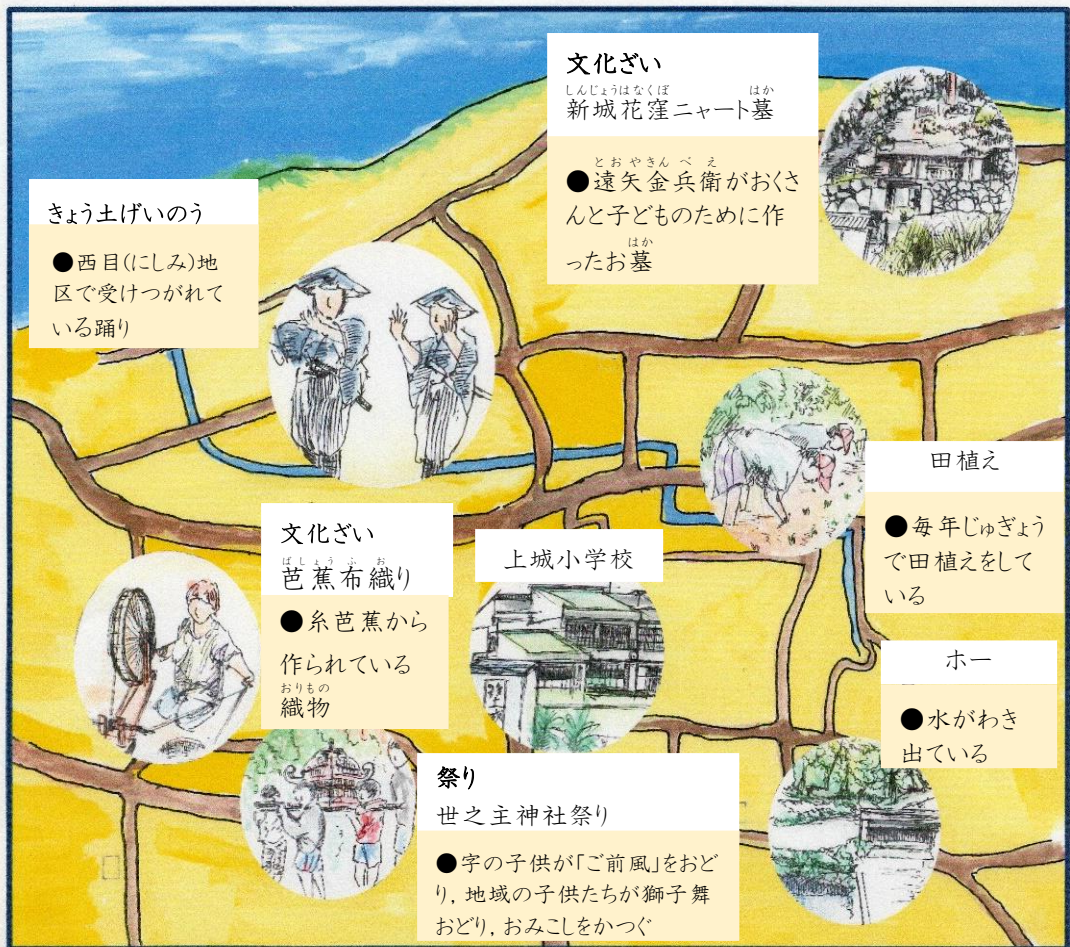
おど  
↑やっこ踊り(正名)

さおうちおど      だいじゃおど      ししまい      ほぞん  
竿打踊り，大蛇踊り，獅子舞などは，地いきの人々が保存会をつく  
って，<sup>てんしょう</sup>伝承につとめています。また，地いきで子どもたちが伝承す  
るためにがんばっている行事もあります。

みなさんの地いきに，むかしから<sup>つた</sup>伝わる行事にはどんなものがある  
か調べてみましょう。

## (2) ふるさとれきしマップができたよ

たつおさんたちは、グループのほうこくをもとに、ふるさとれきしマップ  
をつくりました。調べたときにとった写真や絵をカードにして、カードを地  
図にならべて、わかりやすい地図になるようにしました。



できあがった地図を見て、わかったことやもっとくわしく調べたいことな  
どまとめましょう。また、パンフレットをつくったり、ビデオ  
やインターネットを活用したりして、遠くの友だちや沖永  
良部島内の学校の友だちにもしょうかいしましょう。



### (3) わたしたちの道具博物館

きよ子さんたちは、集めた道具や写真をみんなに見てもらうために、道具博物館をつくることにしました。

一つ一つの道具や写真に説明用パネルをつけたり、ならべ方をくふうしたりして、てんじしました。くらしのうつりかわりの表や道具を活用して年表をつくりましょう。

### くらしのうつりかわりの表

	明治 30 年 (1900 年ごろ)	昭和 10 年 (1930 年ごろ)	現 ざ い
ふく そ う	 まるがり ふるしき はだし	 おさげ かたかけ かばん はだし	 ランドセル 上ばき くつした くつ
あ そ び	すもう こままわし いくさごっこ 木のぼり (男子)	すもう かるた たこ上げ (男子)	おりづみ まりつき ままごと トランプ (女子)
の り も の	馬 小さな船	自転車 のりあい自動車 (バス) トラック	自転車 乗用車 バス・タクシー 飛行機 フェリー
き か い	 すき せんばこぎ とうみ	田ぐるま 足ふみだっこき トラック	耕うんき トラクター ブルドーザー
家 の く ら し	 ランプ おけ 水くみ	 でおし ポンプ でんとう・かまど ちく音き・えいが かいちゆう電とう ラジオ	けいこうとう せん風き・水道 ガス・テレビ・すいはんき せんたくき・クーラー れいぞうこ
食 べ 物	ごはんは麦・あわ・さつまいもを まぜた物 おかゆ・つけ物	とうふ・ひぼし かんづめ 5・6年間は配給 (せんそう前後)	ごはん・パン・牛乳 インスタント食品 れいとう食品 外食
学 校	4年でそつぎょう (行ったり行かなかったりした) 石ばん(ノート) 石ひつ(えんぴつ) 寺屋式校しゃ	小学校6年・中学校3年 男女がべつべつに 勉強をした 洋ふくをつけた 木ぞうの校しゃ	鉄きんコンクリートの 校しゃ パソコン・タブレットを使う

# VI きょう土のはってんにつくす

## 1 産業をさかんにした人

### 学習の めあて

沖永良部島は、昔(むかし)からゆりづくりがさかんで、毎年、ゆりに関係(かんけい)する行事が行われています。どうしてゆりづくりがさかんになったのでしょうか。

### ■ゆりと市来政敏

沖永良部島は、「ゆりの島」とよばれるほど、昔からゆりづくりがさかんです。このゆりは、奄美の島々でもソテツやバナナのしげる緑の野原に夏のおとずれをつけるように白い花を咲かせていました。沖永良部島で、ゆりを栽培するようになったのは、明治38年からです。

それまでは、野生のゆりを、「エラブユリ」という名で、横浜に送っていました。どんどん売れるようになると、畑でもゆりを栽培するようにしょうれいされました。政敏が10才のころでした。政敏は、子どものころから「沖永良部島をゆたかな島にするためにはどうしたらよいか。」ということをも考えていました。まさ

小学校を卒業すると農業の仕事をしました。そして、ゆりづくりに全力を打ちこみました。品質のよいエラブユリをたくさんつくり、横浜の商人にかけ合って、高いねだんで売るように努力しました。人々は、政敏に見習ってたくさんのエラブユリをつくり、アメリカやヨーロッパの国々に輸出(外国へ売ること)するようになりました。



はっしょう きびる  
↑エラブユリ発祥の地(喜美留)



いちきまさとしおうえん ひ  
↑市来政敏翁記念碑

しょうわ たいへいようせんそう ゆしゅつ  
昭和16年太平洋戦争が始まり、日本はゆりを輸出していたアメリカ  
やヨーロッパの国々と戦うことになりました。長年にわたる戦争のため、  
しょくりょう ふそく  
食糧が不足して、国民が食べるものにこまるようになりました。

せいふ  
政府は、すべての畑や学校の校庭などにも食糧をつくれ。」と、めい  
れいを出しました。

こしやま ぐんたい えんしゅう りゆう  
そのころ越山にあった軍隊がやってきて、演習という理由で、政敏の  
畑をかけまわって、大事に育てたゆりのなえをふみつぶしてしまいました  
た。また、島の人々からも、だんだん見はなされていきました。しかし、  
政敏は、「戦争が終わったら、人々は何をつくってお金もうけをするの  
か。それには、エラブユリしかない。」とかたく決心しました。毎日の食  
けっしん  
事にもこまる政敏でしたが、強い信念と努力でエラブユリを守りぬきま  
した。

やがて、戦争が終わり、ふたたび  
のうか  
農家の人々もエラブユリをつくるよう  
になりました。政敏は苦労して守り育  
くろう  
てたエラブユリの球根をこころよく分  
きゅうこん  
けてあげたのです。

今では、球根の栽培だけでなく、切  
り花として、ハウスでの栽培も多く行  
われています。



↑ハウスでの栽培

## 調べよう

わたしたちと同じ沖永良部島に生まれた先輩たちの中には、島おこ  
しのために努力したり、とうがい  
島外で人々のためにつくしたりした人たちがが  
います。地いきにあるどうぞう  
銅像や記念碑をもとにして、その人についてくわ  
しく調べてみましょう。

## 2 大山の自然を守る

### 調べよう

沖永良部島で一番高い「大山」には、たくさんの木々でおおわれています。この木のおかげで、山に水がたくわえられています。また、気温を下げたり、大雨のときの洪水から守ってくれたりしています。

この木は、大昔から自然にできたのでしょうか。それとも、だれかが植えてくれたのでしょうか。

#### ■ 関 周明 と 花房 宗呈

沖永良部島で一番高い「大山」には、たくさんの木々でおおわれています。この木のおかげで、山に水がたくわえられています。また、気温を下げたり、大雨のときの洪水から守ってくれたりしています。

この木は、大昔から自然にできたのでしょうか。それとも、だれかが植えてくれたのでしょうか。

明治時代、関周明は大山で茶樹栽培をはじめました。沖永良部島のお茶の木は、静岡地方より育つのが早いことを考え、お茶をつくりました。

あれていた土地に肥料を加えて、土地をよくしていきました。

花房宗呈は、大正時代に林業技手としてまねかれました。山の木々は枯れかけていましたが、杉や松などの木を植えていきました。また、茶園、苗園、みかん園などをつくっていきました。

今、大山にはたくさんの木々で自然豊かな光景が広がっています。このような人々が、沖永良部島の未来のために、小さな苗木を一本一本植えてくれたことで、このような自然が生まれているのです。



### 3 沖永良部島出身者のつとめ沖洲会（ちゅうしゅうかい）

沖永良部島出身の人には、沖永良部島から外に出て、全国のそれぞれの場所で頑張っている人がおおぜいいます。

そのような沖永良部島出身者がつとめ会が全国には8つあり、沖洲会といえます。

会員数は6000人をこえ、会員同士の交流や、島の伝統文化の伝承、沖永良部島との交流など、いろいろなイベントや活動を行っています。

#### ■東京沖洲会（とうきょうちゅうしゅうかい）

東京沖洲会は一番歴史がふるく、令和5年に設立110周年をむかえました。ふるさとの誇りをわすれることなく、子どもや孫たちに活動が受けつがれています。

#### ■神戸沖洲会（こうべちゅうしゅうかい）

神戸沖洲会は、会員数が4000人近くと最も多く、総会・バレー大会・運動会などがあり、年間を通じて活動をしています。

#### ■鹿児島沖洲会（かごしまちゅうしゅうかい）

鹿児島沖洲会は、毎年、沖永良部高校の卒業生歓迎会を行っています。また、沖永良部高校同窓会や、ふれあい笑（しょう）運動会を開催しています。

#### ■ゆいのこころ

阪神淡路大震災の時には神戸市にある神戸沖洲会館にたくさんの沖永良部島の出身者が避難をしました。沖永良部島からもその人たちをはげますために花や援助物資を持って行き、災害にあった人たちを勇気づけました。

このように<sup>ぜんこく</sup>全国の<sup>ちゅうしゅうかい</sup>沖洲会には、自分の生まれ育った島を<sup>ほこ</sup>誇りに思ったり、  
 島の<sup>しょうらい</sup>将来を考えたりしながらがんばっている人がおおぜいいます。みなさん  
 が大人になって、もしこの島をはなれることになったら、それぞれの<sup>ちいき</sup>地域の  
<sup>ちゅうしゅうかい</sup>沖洲会とつながりをもって活動してほしいと思います。きっとみなさんの力  
 になるでしょう。



現在、<sup>ちゅうしゅうかい</sup>沖洲会は全国に支部がありたくさんの会員がいます。以前は岡山や千葉にも沖洲会がありました。

## 【沖洲会支部地図】

### 【会員数】

東京沖洲会	1,300名
神戸沖洲会	4,000名
尼崎沖洲会	350名
大阪沖洲会	130名
愛知沖洲会	73名



わたしたちの沖永良部島(第18回改訂)

令和8年3月

< 編集 >

和泊町教育委員会

知名町教育委員会